



国際ロータリー第2690地区
会長エレクト研修セミナー
(PETS)



日 時 2025年3月8日(土)・9日(日)
会 場 ANAクラウンプラザホテル米子
主 催 国際ロータリー第2690地区
地区ガバナーエレクト 坂口 元昭
ホストクラブ 米子南ロータリークラブ



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

(2019年1月理事会会合、決定 119号)

2025-26年度
国際ロータリー会長メッセージ



よいことの
ために
手を取りあおう

マリオ・セザール・
マルティンス・デ・カマルゴ

2025-26 年度国際ロータリー会長 プロフィール



マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ

ブラジル サンパウロ

サントアンドレロータリークラブ所属

印刷業界のビジネス・コンサルタントであり、父親が設立した印刷会社 Gráfica Bandeirantes の元取締役。彼のリーダーシップのもと、同社はブラジルや南米のクライアントに印刷物を提供するサプライヤーに成長。

軍学校に通い、ロータリー青少年交換プログラムで米国ミネソタ州セントポールの高校を卒業。ドイツのオッフェンバッハにある印刷機メーカー、MAN Roland で 1 年間のインターンシップを経験した後、Fundación Getulio Vargas' São Paulo School of Business Administration より学士号を取得。また、サン・ベルナルド・ド・カンポ法科大学より法学士号を取得。

ブラジルのグラフィック技術協会やブラジル印刷産業協会(ABIGRAF)の会長など、数多くの専門家団体を率いた経験を有する。また、全国産業連盟のサンパウロ州産業連盟(FIESP)代表理事、FIESP 副会長、ラテンアメリカ印刷産業連盟副会長も歴任。フロリダ印刷協会から「Printing Leader of the Americas」賞、NPES(印刷・出版・加工技術サプライヤー協会)から「Global Presidential Print Award」を受賞。

1980 年、23 歳でロータリーに入会。理事と管理委員を歴任し、ブラジルで 4 番目の RI 会長として就任。RI ラーニングファシリテーター、Avoidable Blindness(回避可能な失明)タスクフォースのゾーンコーディネーター、健康問題のタスクフォース中南米コーディネーター、RI 会長代理、規定審議会代表議員など数多くの役割を歴任。また、RI 会員増強委員会、ロータリー財団プログラム財務委員会、国際ポリオプラス委員会にも貢献。

ロータリーの世界的な活動に感銘を受けており、「超私の奉仕によって、ロータリーは、私が知る限り、他に類を見ない独自の世界的アイデンティティを築き上げた。私たちは皆、世界を広げてくれる団体に所属していることを忘れてはならない」と話す。

2020 年のコロナ禍の初期に、二つの目標に着手(一つはロースクール卒業 38 年後の司法試験合格のための勉強、もう一つはイタリア語の勉強)。歴史や伝記の本を読むことと、おいしいワインを味わうことも趣味とする。ロータリー財団特別功労賞受賞者。

ロータリー財団特別功労賞を受賞。デニース夫人と共に、メジャードナー、ロータリー財団ベネファクター。



2025-26 年度会長メッセージのスピーチ

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ
国際ロータリー会長エレクト
2025 年 2 月 10 日

敬愛なるガバナーとロータリーリーダーである皆さま、おはようございます。

昨年はここに、2024-25年度ガバナーにお集まりいただきました。その際、私は国際ロータリーの会長ノミニーとして、会員増強を私たちの組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。

そして今日、会長エレクトとして皆さんの前に立っている今、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、これまで以上に確信しています。

ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。会員は、地球上で最も有能なボランティアのチームです。私は、アトランタ国際大会で、ポリオ根絶のパートナー団体を代表する人物が、ロータリー会員の並外れた献身を称賛したのを聞いて、このことを学びました。外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました。

本日は、会員増強と活性化に向けたロードマップについてお話ししたいと思います。このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。これらの原則は単なる戦略ではありません。ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。トマージ・ディ・ランペドゥーサが『山猫』で書いたように、「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない」のです。

革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

68歳の私は、仲間たちのコミュニティを見つけることがどれほど充実したものであるかを、身をもって知っています。

私の所属クラブであるサント・アンドレ・ロータリークラブは、150人の会員を擁する活気と伝統のあるクラブです。妻のデニースは、衛星クラブの結成に助力し、50人近い素晴らしい女性たちが自分らしくリーダーシップを発揮できる場を創り出しました。

衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどは、多様な人びとを惹きつけるために必要な柔軟性の例です。これらのモデルがどこでも通用するわけではありませんが、従来の枠組みにとらわれずに未来のロータリアンに働きかける機会をもたらします。将来のロータリー会員は必ずどこかにいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります。

この18カ月間で地球を6周以上した旅の中で、最も健全な地区には、一貫し、団結したリーダーシップという重要な特徴があることに気づきました。ガバナーが前任者の努力を基盤とし、プログラムや戦略が毎年途切れることなく継続されるようにすることで、地区は発展します。一方、トップにおける不和は、時限爆弾のようなものであり、これが会員数の減少という結果を引き起こすことがよくあります。

この旅から得た感動的な瞬間をいくつかご紹介しましょう。ナイジェリアの第9141地区では、サービスの行き届いていない地域に井戸を建設したり、学校に椅子を寄贈したりすることの素晴らしいインパクトを目の当たりにしました。パキスタンでは、2022年の壊滅的な洪水の被災者が、ただ生き延びるだけの生活からより良い未来へと移行できるよう、ロータリーが支援しているスマートビレッジを訪れました。

インドのムンバイでは、ロータリーの補助金で先天性心臓病の治療を受けている子どもたちに会いました。また、別の地域では、緩和ケア病院の外に、がん検診、歯科治療、眼科検診を支援するロータリー財団のロゴが入った救急車が並んでいるのを目にしました。

インドネシアのランパンで、デニースと私は、700世帯の経済が小規模ながら変化し、米を生産する農家の収入が増えるのを目にする機会に恵まれました。

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることができますが、力を合わせれば、世界を変えることができます。ゲイツ財団、WHO、UNICEFといった団体とのパートナーシップは、230億ドルを投じて40年以上取り組んできたポリオ根絶活動において極めて重要な役割を果たしました。ロータリーが単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかったでしょう。

それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付けることができます。このようなパートナーシップは、「量か質か」と

いう誤った二者択一を排除します。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます。

最終的には、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。

まず、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。

第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。

第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤というものはありません。

私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。

行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。

これが、2025-26年度の会長メッセージです：「よいことのために手を取りあおう」

分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

本日この会場を後にする際には、地区でロータリーを成長させるための最善の戦略を学ぶことに焦点を当ててください。ロータリーは、この協議会に多大な時間と資金を投じてきましたが、それはスピーチや派手な演出のためではなく、皆さんが効果的にリーダーシップを発揮するための手段を身につけていただくためです。この投資から得られる見返りは、金銭で測られるものではなく、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことによって測られるでしょう。

そして、この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。

成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。

ご清聴ありがとうございました。

地区ガバナーエレクトメッセージ

2025 年度 国際協議会を振り返って

国際ロータリー 2690 地区
2024-25 年度 ガバナーエレクト
坂口元昭



2025 年度の国際協議会は、2 月 9 日から 5 日間にわたり、アメリカ・フロリダ州オーランドにて開催されました。今回の国際協議会を振り返るにあたり、まずは素晴らしい同期の仲間と共に過ごせたことに、心から感謝申し上げます。

「同期こそが最大のリソース」とよく言われますが、まさにその通りでした。共通の目的に向かって切磋琢磨し、互いに刺激を受けながら学び合うことができた時間は、何にも代えがたい極めて貴重なものでした。共に過ごした時間の中で得た経験や絆は、今後の活動において大きな支えとなると確信しております。

また、国際協議会のプログラム自体も非常に素晴らしく、エレクトとしてガバナーになるために必要な知識や情報、地区のリーダーとしての心構えや使命の重要性を深く学ぶことができました。同時に、世界中のロータリアンとのつながりを肌で感じることができ、視野を大きく広げる貴重な機会となりました。ラーニングファシリテーターをはじめ、多くのシニアリーダーの皆様にも心より感謝申し上げます。全体会議では同時通訳が用意されていましたが、もし言葉の壁がなければ、さらに素晴らしい体験になったことでしょう。

2025-26 年度 RI 会長のメッセージ UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう

これは、2025-26 年度 RI 会長のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が発信したメッセージです。彼は、世界の地域社会におけるロータリーの奉仕活動を強化することの重要性を強調し、成長のための「不可欠な 3 つの柱」として、革新・継続性・パートナーシップを挙げました。



1. 革新(Innovation)

「テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。」

2. 継続性(Continuity)

「継続性とは、画一性ではなく連携である。地区リーダー同士が連携し、年度を超えてロータリーの未来を見据えることで、長期的な成功の基盤が築かれる。」

3. パートナーシップ(Partnership)

「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。良いことのために手を取り合えるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。」

「テーマ」から「メッセージ」へ

これまで RI 会長は毎年「テーマ」を掲げ、それに沿って地区ガバナーが方針を決定していました。しかし今年は「テーマ」ではなく「メッセージ」として発信され、それを地区の活動に組み込む形で事業を進めていくことになります。

そして、取り組むべき最重要課題はやはり会員増強であると考えます。

国際協議会を通じて

今回の国際協議会に参加するにあたり、私はいくつか確認したいポイントを持って臨みました。「テーマ」と「メッセージ」の違い、DEI(Diversity, Equity, Inclusion)、そして 3-year rolling goals (3 年ごとの目標設定) などについてです。すぐに答えを得られたものもありましたが、一方で時間をかけて自分自身で答えを見つける必要があるものもありました。これからも学びを深めながら、より良いロータリーの発展に向けて尽力していきたいと思います。今後とも、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2025-26 年度国際ロータリー第 2690 地区 地区目標

【重点地区目標】

- 1 クラブ優秀賞の達成（旧ロータリー賞）
- 2 インパクトのある青少年奉仕活動の実践
- 3 公共イメージの向上（EndPolio と PolioDay）
- 4 会員増強：各クラブ純増 1 名以上
- 5 ロータリー財団への支援
 - ・年次基金への寄付 150 米ドル / 人
 - ・ポリオプラスへの寄付 30 米ドル / 人
 - ・災害支援基金
 - ・恒久基金
 - ・大口寄付
 - ・ポールハリス・ソサエティー加入促進 1 グループ 新規加入 1 名以上
 - ・ポリオプラス・ソサエティー加入促進 1 グループ 新規加入 20 名以上
- 6 米山記念奨学会への支援
 - 普通寄付 5,000 円 / 人
 - 特別寄付 10,000 円 / 人
- 7 ロータリーカードの加入促進
- 8 地区大会への参加
- 9 2026 年国際大会への参加 台北（2026 年 6 月 13 日～17 日）
1 グループ 10 名以上

ご来賓名簿

直前国際ロータリー理事	佐 藤 芳 郎	(岡山南 RC)
地区ガバナー	榊 原 敬	(岡山南 RC)
パストガバナー	鳥 居 滋	(岡山東 RC)
パストガバナー	伊 藤 文 利	(倉吉 RC)
パストガバナー	森 本 信 一	(津山 RC)
パストガバナー	松 本 祐 二	(益田西 RC)
パストガバナー	古 瀬 俱 之	(出雲中央 RC)
パストガバナー	菊 池 捷 男	(岡山西 RC)
パストガバナー	岩 崎 陽 一	(鳥取西 RC)
直前ガバナー	石 倉 貞 昭	(松江しんじ湖 RC)
地区ガバナーノミニー	金 谷 晋 爾	(玉島 RC)
地区ガバナーノミニー・デジグネート	高 山 眞 司	(岡山東 RC)
第 11 グループガバナー補佐	福 嶋 裕 美 子	(岡山西 RC)
地区代表幹事	西 川 智 晴	(岡山南 RC)
次々期地区代表幹事	平 井 始	(玉島 RC)

国際ロータリー第 2690 地区
2025-26 年度 会長エレクト研修セミナー(PETS) プログラム

■ **本会議(1日目)**

日時:2025 年 3 月 8 日(土) 15:30-19:45

会場:ANA クラウンプラザホテル米子

敬称略

14:30	登録・受付		
		司会:次期地区副代表幹事	鹿 島 康 裕
15:30	点鐘	地区ガバナーエレクト	坂 口 元 昭
	開会の言葉	次期地区代表幹事	坂 本 高 司
	国歌「君が代」斉唱		
	ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱	ソングリーダー	足 立 珠 希
	地区ガバナーエレクト紹介	地区ガバナー	榊 原 敬
	ご来賓紹介	地区ガバナーエレクト	坂 口 元 昭
	次期地区ラーニング・ファシリテーター紹介	地区ガバナーエレクト	坂 口 元 昭
	次期地区ラーニング・ファシリテーター挨拶		
		次期地区ラーニング・ファシリテーター	庄 司 尚 史
	次期ガバナー補佐・次期地区役員紹介	地区ガバナーエレクト	坂 口 元 昭
	地区ガバナー挨拶	地区ガバナー	榊 原 敬
16:10	セッション【1】	地区ガバナーエレクト	坂 口 元 昭
	「基調講演」		
17:00	セッション【2】	次期地区ラーニング・ファシリテーター	庄 司 尚 史
	演題「ロータリーの公共イメージについて」		
17:40	地区からのお願い	次期地区代表幹事	坂 本 高 司
17:50	点鐘	地区ガバナーエレクト	坂 口 元 昭
	お知らせ	SAA 次期地区副代表幹事	中津尾直己

■ **PETS 懇親会・松本祐二パストガバナー2025 年規定審議会ご出席壮行会**

日時:2025 年 3 月 8 日(土)18:15-19:45

会場:ANA クラウンプラザホテル米子

		司会:次期地区副代表幹事	田 中 貴 之
18:15	開宴の言葉	地区ガバナーエレクト	坂 口 元 昭
	壮行の言葉	パストガバナー	伊 藤 文 利
	餞別の贈呈	地区ガバナー	榊 原 敬
	餞別の贈呈	直前国際ロータリー理事	佐 藤 芳 郎
	御礼の言葉	2025 年規定審議会地区代表議員	松 本 祐 二
	乾杯	直前ガバナー	石 倉 貞 昭
	地区大会のご案内	次期地区大会実行委員長	本 田 雅 一
19:45	閉宴の言葉	次期地区ラーニング・ファシリテーター	庄 司 尚 史
	ロータリーソング「手に手つないで」	ソングリーダー	足 立 珠 希

■本会議(2日目)

日時:2025 年 3 月 9 日(日) 9:00-14:30

会場:ANA クラウンプラザホテル米子

司会:次期地区副代表幹事 鹿島 康 裕

9:00 点鐘

地区ガバナーエレクト 坂口 元 昭

セッション【3】

パストガバナー 松本 祐 二

演題「ポリオ根絶にむけてあなたに出来ること」

セッション【4】

2024-25 年度第 11 グループガバナー補佐 福嶋裕美子

演題「グローバル補助金について The Oyster Reef Project」

セッション【5】

直前国際ロータリー理事 佐藤 芳 郎

演題「クラブをもっと活性化しよう！」

お知らせ

SAA 次期地区副代表幹事 中津尾直己

会場移動

11:00 セッション【6】 グループディスカッション

テーマ「インパクトある青少年奉仕活動について-3years Rolling Goals を踏まえて-

グループ	カウンセラー	リーダー	副リーダー	SAA	会場
第 1 第 2	パストガバナー 伊藤文利 パストガバナー 岩崎陽一	次期ガバナー補佐 小谷文夫 (鳥取 RC)	次期ガバナー補佐 兒嶋敏雄 (米子 RC)	鹿島康裕 (米子南 RC)	琥珀島 東 (2 階)
第 3 第 4 第 5	直前ガバナー 石倉貞昭 地区ガバナー 榎原 敬	次期ガバナー補佐 小林祥泰 (松江 RC)	次期ガバナー補佐 池淵俊雄 (出雲中央 RC) 森本恭史 (益田 RC)	田中貴之 (米子南 RC)	琥珀島 西 (2 階)
第 6 第 7	パストガバナー 松本祐二 パストガバナー 佐藤芳郎	次期ガバナー補佐 枝木恭平 (笠岡 RC)	次期ガバナー補佐 岡本研作 (倉敷 RC)	川上 登 (米子南 RC)	千鳥(3 階)
第 8 第 9	パストガバナー 森本信一 パストガバナー 古瀬俱之	次期ガバナー補佐 前原知明 (津山中央 RC)	次期ガバナー補佐 松井浩明 (岡山後楽園 RC)	田中康裕 (米子南 RC)	鶯(2 階)
第 10 第 11	パストガバナー 鳥居 滋 パストガバナー 菊池捷男	次期ガバナー補佐 大岩道典 (岡山南 RC)	次期ガバナー補佐 藤澤敏典 (岡山西南 RC)	足立珠希 (米子南 RC)	朱鷺(3 階)

12:10 昼食

13:10 グループディスカッション報告

次期ガバナー補佐(各会場リーダー)

総括・講評

地区ガバナーエレクト 坂口 元 昭

閉会の言葉

次期地区代表幹事 坂本 高 司

14:30 閉会・点鐘

地区ガバナーエレクト 坂口 元 昭

セッション1 「基調講演」



地区ガバナーエレクト

さかぐち

もとあき

坂口 元昭

生年月日	1965 年 1 月 1 日生
所属RC	米子南ロータリークラブ
職業分類	石油販売

【略歴】

1989 年 3 月 成城大学経済学部経済学科 卒業
1989 年 4 月 コスモ石油株式会社 入社
1994 年 1 月 山陰石油株式会社 入社
2005 年 5 月 山陰ジーエス・ユアサ株式会社 代表取締役
2007 年 1 月 山陰石油株式会社 代表取締役社長 現在に至る

【公職】

鳥取県石油協同組合 理事長
一般社団法人全国石油協会 副会長
全国石油商業組合連合会・全国石油業共済協同組合連合会 理事
全国石油商業組合連合会中国支部 理事
米子商工会議所 常議員
米子地区防火安全協会 会長
一般社団法人米子青年会議所 第 45 代理事長

【ロータリー歴】

2009 年 11 月 米子南ロータリークラブ 入会
2021-22 年度 第 35 代クラブ会長
2023-24 年度 地区ガバナーノミニ

ロータリー財団 メジャードナー（レベル 1） ベネファクター ポール・ハリス・ソサエティ会員
ポリオプラス・ソサエティ会員

米山記念奨学会 第 1 回米山功労者マルチプル（1 回）

セッション2 「ロータリーの公共イメージについて」



国際ロータリー第 2690 地区
次期ラーニングファシリテーター

しょうじ

なおふみ

庄司 尚史

生年月日	1954 年 2 月 17 日生
所属 RC	境港ロータリークラブ
職業分類	セメント販売

【略歴】

1976 年 3 月 慶應義塾大学法学部 卒業
1976 年 4 月 -1979 年 3 月 IHI 株式会社
1979 年 4 月 合資会社第貳商会 入社
1985 年 4 月 ビーハート株式会社 代表取締役 [現在取締役会長]
1989 年 6 月 米子菱交コンクリート株式会社 代表取締役 [現]
1992 年 6 月 合資会社第貳商会 代表社員 [現在会長]
1996 年 4 月 協和地建コンサル担当株式会社 取締役 [現]
1999 年 4 月 株式会社日新 取締役 [現]
1999 年 6 月 株式会社中海テレビ放送 取締役 [現]
2007 年 2 月 医療法人博愛病院 理事 [現]

【公職】

1989 年 10 月 境港市教育委員会委員 [3 期]
2005 年 6 月 境港市代表監査委員 [2 期]

【団体職】

1989 年 1 月 境港青年会議所 理事長
2007 年 2 月 (一社) 淡交会 監事 [現]
2011 年 10 月 米子地区生コンクリート協同組合 理事長 [現]
2013 年 4 月 大祥寺護寺会長 [現]

【ロータリー歴】

1995 年 2 月 境港ロータリークラブ 入会
2011-12 年度 第 50 代クラブ会長
2016-17 年度 国際ロータリー第 2690 地区 地区ガバナー
2019-21 年度 国際ロータリー第 2690 地区 地区ロータリー財団委員長
2021-25 年度 国際ロータリー第 2690 地区 地区ロータリー財団監査委員長
2022-23 年度 国際ロータリー第 3 地域ロータリーコーディネーター補佐
2023-25 年度 国際ロータリー第 3 地域公共イメージコーディネーター補佐

ロータリー財団 メジャードナー (レベル 2) ポール・ハリス・ソサエティ会員
ポリオプラス・ソサエティ会員

セッション3 「ポリオ根絶にむけてあなたに出来ること」



国際ロータリー第 2690 地区パストガバナー

まつもと

ゆうじ

松本 祐二

生年月日 1952 年 8 月 26 日生

所属 RC 益田西ロータリークラブ

職業分類 内科医

【略歴】

1979 年 昭和大学医学部 卒業
1980 年 昭和大学医学部附属藤が丘病院内科
1982 年 益田市にて松本医院を継承（八代目） 現在に至る

【ロータリー歴】

1986 年 5 月 益田西ロータリークラブ 入会
1991 年 6 月 益田西ロータリークラブ 退会
1993 年 5 月 益田西ロータリークラブ 再入会
1997-98 年度 第 21 代クラブ会長
2001-02 年度 国際ロータリー第 2690 地区 第 5 ブロックガバナー補佐
2014-15 年度 国際ロータリー第 2690 地区 地区ガバナー
2016 年 2 月 国際ロータリー第 2640 地区大会 国際ロータリー会長代理
2015-21 年度 国際ロータリー第 3 地域 ポリオ根絶コーディネーター
2018 年 6 月 トロント国際大会 SAA
2019 年 1 月 2019-20 年度国際協議会 SAA
2022-26 年度 規定審議会地区代表議員
2022 年 11 月 国際ロータリー第 2730 地区大会 国際ロータリー会長代理
2023 年 11 月 国際ロータリー第 2530 地区大会 国際ロータリー会長代理

ロータリー財団 ベネファクター メジャードナー（レベル 4） ポール・ハリス・ソサエティ会員
ポリオプラス・ソサエティ会員 ロータリー財団功労表彰状
米山記念奨学会 米山功労者メジャードナー

2830 地区 弘前アップル RC 関場慶博 PDG のポリオ根絶活動に触発され、インドやパキスタンなどでポリオワクチン投与活動にも参加。益田西 RC のペルー共和国、パキスタン・イスラム共和国、マーシャル諸島共和国、タイ王国、ネパール連邦民主共和国での奉仕活動などにも参加

【その他】 公益社団法人益田市医師会 元会長
日本労働衛生コンサルタント会島根県支部 副部長
一般社団法人島根県医師会 元常任理事
NPO 法人島根糖尿病療養支援機構 顧問

セッション 4 「グローバル補助金について The Oyster Reef Project」



国際ロータリー第 2690 地区
2024-25 年度第 11 グループガバナー補佐

ふくしま ゆみこ

福嶋 裕美子

所属 R C 岡山西ロータリークラブ
職業分類 学園経営

【略歴】

1975 年 3 月 青山学院女子短期大学 文学部英文学科 卒業
1996 年 4 月 岡山健康医療技術専門学校 作業療法士学科 入学
1999 年 3 月 岡山健康医療技術専門学校 作業療法士学科 卒業
2001 年 4 月 吉備国際大学大学院保健科学研究科 作業療法学科修士課程 入学
2003 年 3 月 吉備国際大学大学院保健科学研究科 作業療法学科修士課程 修了
2004 年 4 月 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 博士後期課程 入学
2007 年 3 月 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 博士後期課程 修了

【資格】

2000 年 4 月 作業療法士免許取得
2001 年 3 月 介護支援専門員
2004 年 2 月 厚生労働省痴呆介護指導者資格取得
2006 年 5 月 アロマテラピーアドバイザー
2007 年 3 月 医療福祉学博士号取得
2007 年 9 月 キャラバン・メイト
2011 年 4 月 国際医療福祉大学 客員研究員
2021 年 3 月 日本語教師
2023 年 3 月 介護福祉士

【ロータリー歴】

2012 年 11 月 岡山西ロータリークラブ 入会
2020-21 年度 国際ロータリー第 2690 地区 地区米山記念奨学委員会委員長
2023-24 年度 第 63 代会長
2024-25 年度 国際ロータリー第 2690 地区 第 11 グループガバナー補佐

ロータリー財団 メジャードナー（レベル 1）

米山記念奨学会 第 3 回米山功労者マルチプル

セッション5 「クラブをもっと活性化しよう！」



直前国際ロータリー理事

さとう よしお

佐藤 芳郎

生年月日 1949年2月14日生
所属RC 岡山南ロータリークラブ
職業分類 公認会計士

【略歴】

1972年 慶応義塾大学経済学部 卒業
1974年 慶応義塾大学大学院商学研究科 会計学専攻修了
1974-79年 アーサー・アンダーセン・アンド・カンパニー 勤務
1979-86年 等松・青木監査法人 勤務
1986- 公認会計士事務所 設立

【ロータリー歴】

1989年 岡山南ロータリークラブ 入会
2010-11年度 会長・理事
2015-16年度 国際ロータリー第2690地区 地区ガバナー
2016年 国際ロータリー第3ゾーン理事指名委員・委員会招集者
2016-21年度 日本のロータリー百周年記念事業等委員会 委員
2016-17年度 国際ロータリー第2690地区 PHS コーディネーター
2017-18年度 国際ロータリー第3ゾーン ロータリー財団地域コーディネーター補佐
2019年 国際ロータリーラーニング・ファシリテーター
2019-22年度 国際ロータリー第3地域 恒久基金 / 大口寄付アドバイザー (E/MGA)
2020-22年度 公益財団法人米山記念奨学会 理事
2022-24年度 国際ロータリー 理事
2022- 公益財団法人ロータリー日本財団 副理事長

ロータリー財団 アーチクラフ・ソサエティ（管理委員会サークル） ベネファクター
ポール・ハリス・ソサエティ会員 ポリオプラス・ソサエティ会員
「ロータリー平和センター」冠名基金設立 「水と衛生」冠名基金設立
「シェア」冠名基金設立 遺贈友の会（レベル2）

米山記念奨学会 第73回米山功労者メジャードナー

セッション6 グループディスカッション

第1・第2グループ	
カウンセラー	伊 藤 文 利
カウンセラー	岩 崎 陽 一
リーダー	小 谷 文 夫
副リーダー	兒 嶋 敏 雄
クラブ	会長エレクト
智 頭	平 尾 義 之
倉 吉	根 鈴 輝 雄
倉 吉 中 央	伊 達 雅 英
倉 吉 東	酒 井 義 人
鳥 取	竹 内 ひ と み
鳥 取 中 央	坂 本 健 一
鳥 取 北	田 村 博 信
鳥 取 西	西 尾 正 博
境 港	山 崎 慎 也
米 子	八 幡 康 久
米 子 中 央	安 田 壽 朗
米 子 東	足 立 博 俊
米 子 南	松 浦 常 明

第3・第4・第5グループ	
カウンセラー	石 倉 貞 昭
カウンセラー	榊 原 敬
リーダー	小 林 祥 泰
副リーダー	池 淵 俊 雄
副リーダー	森 本 恭 史
クラブ	会長エレクト
松 江	後 藤 勇
松 江 東	藤 原 勝
松 江 南	安 達 亨
松江しんじ湖	古 安 正 好
隠 岐 西 郷	前 川 昌 昭
平 田	土 江 光 二
出 雲	松 井 修 一
出 雲 中 央	児 玉 治
出 雲 南	松 本 毅
大 社	草 谷 千 亜 希
江 津	増 田 敏 広
浜 田	鶴 田 英 也
益 田	佐々井千恵子
益 田 西	田 原 毅
大 田	森 山 康 仙

第6・第7グループ	
カウンセラー	松 本 祐 二
カウンセラー	佐 藤 芳 郎
リーダー	枝 木 恭 平
副リーダー	岡 本 研 作
クラブ	会長エレクト
井 原	片 山 浩 二
笠 岡	大 山 桂 之
笠 岡 東	池 田 孝
新 見	柴 田 政 伸
総 社	上 野 英 子
総 社 吉 備 路	河 本 一 平
高 梁	西 川 浩 二
玉 島	片 山 洋 太 郎
児 島	難 波 恭 一 郎
児 島 東	片 山 彰 造
倉 敷	小 笠 原 敬 三
倉 敷 中 央	千 田 修 志
倉 敷 東	藤 田 康 孝
倉 敷 南	浅 見 忠 世
倉 敷 水 島	近 藤 修 六
倉 敷 瀬 戸 内	今 村 隆 英

第8・第9グループ	
カウンセラー	森 本 信 一
カウンセラー	古 瀬 俱 之
リーダー	前 原 知 明
副リーダー	松 井 浩 明
クラブ	会長エレクト
真 庭	富 岡 裕 和
美 作	中 尾 正 明
津 山	荻 田 裕 也
津 山 中 央	石 井 香 里
津 山 西	岸 辺 貴 之
備 前	幡 山 寛 念
岡 山	梶 原 行 正
岡 山 東	齋 藤 信 也
岡 山 北 西	笠 原 英 司
岡 山 後 楽 園	鳥 越 貞 成

第10・第11グループ	
カウンセラー	鳥 居 滋
カウンセラー	菊 池 捷 男
リーダー	大 岩 道 典
副リーダー	藤 澤 敏 典
クラブ	会長エレクト
岡 山 旭 川	難 波 俊 弘
岡 山 中 央	尾 坂 明 義
岡 山 北	高 畠 浩
岡 山 南	黒 瀬 仁 志
玉 野	川 口 雅 之
岡 山 備 南	河 口 亮 一
岡 山 城	笠 原 武
岡 山 岡 南	榊 谷 公 登
岡 山 丸 の 内	布 目 浩 二
岡 山 西	岩 居 博
岡 山 西 南	田 中 英 樹

グループディスカッション

第1・第2グループ

第3・第4・第5グループ

第6・第7グループ

第8・第9グループ

第10・第11グループ

2025-26 年度ガバナー補佐名簿

敬称略

グループ	ふりがな 氏名	所属RC	事業所名	事業所役職	職業分類
第1	こたに ふみお 小谷 文夫	鳥取RC	株式会社小銭屋	代表取締役	旅館
第2	こじま としお 児嶋 敏雄	米子RC	株式会社葬仙	顧問	冠婚葬祭
第3	こばやし しょうたい 小林 祥泰	松江RC	医療法人社団耕雲堂小林医院	理事長	内科医
第4	いけぶち としお 池淵 俊雄	出雲中央RC	有限会社スタジオいずも	代表取締役	写真館
第5	もりもと きょうじ 森本 恭史	益田RC	株式会社森本建設	代表取締役	建築工事業
第6	えだき きょうへい 枝木 恭平	笠岡RC	笠岡放送株式会社	代表取締役会長	情報サービス
第7	おかもと けんさく 岡本 研作	倉敷RC	酒津焼窯元		陶芸
第8	まえはら ちあき 前原 知明	津山中央RC	前原測量設計有限会社	取締役会長	測量士
第9	まつい ひろあき 松井 浩明	岡山後楽園RC	医療法人まつい皮ふ科	理事長	皮膚科医
第10	おおいわ みちのり 大岩 道典	岡山南RC	ANAクラウンプラザホテル岡山	代表取締役	ホテル
第11	ふじさわ としのり 藤澤 敏典	岡山西南RC	(株)フジサワ建築設計事務所	代表取締役	建築設計

2025-26 年度 クラブ会長・幹事（事務所・例会場）

第1グループ ガバナー補佐 小谷 文夫（鳥取RC）

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場（例会曜日）
智 頭	平尾 義之	國本 智之	〒689-1441 八頭郡智頭町慶所25-3 TEL: 0858-78-0551 FAX: 0858-78-0551 E-mail: rc-chizu@rcc.sakura.ne.jp	鳥取銀行智頭支店 (水)
倉 吉	根鈴 輝雄	金 森 実	〒682-0886 倉吉市大正町1075-4 倉吉信用金庫うつぶき支店2F TEL: 0858-22-1154 FAX: 0858-22-1150 E-mail: kurarc@fancy.ocn.ne.jp	倉吉信用金庫うつぶきホール (火)
倉吉中央	伊達 雅英	山本 浩一	〒682-0023 倉吉市山根543-7 倉吉シティホテル内 TEL: 0858-26-8560 FAX: 0858-26-8570 E-mail: kchuourc@apionet.or.jp	倉吉シティホテル (水)
倉吉東	酒井 義人	新木 雅章	〒682-0023 倉吉市山根543-7 倉吉シティホテル内 TEL: 0858-24-6300 FAX: 0858-24-6301 E-mail: kurayoshi@east-rotary.jp	倉吉シティホテル (木)
鳥 取	竹内ひとみ	倉下 光明	〒680-0822 鳥取市今町2-112 アクティ鳥取ビル5F TEL: 0857-22-1010 FAX: 0857-25-2393 E-mail: office@tottori-rc.gr.jp	ホテルニューオータニ鳥取 (木)
鳥取中央	坂本 健一	西面美都子	〒680-0822 鳥取市今町2-112 アクティ鳥取ビル2F TEL: 0857-29-3210 FAX: 0857-29-3257 E-mail: tori-crc@abeam.ocn.ne.jp	ホテルニューオータニ鳥取 (月)
鳥取北	田村 博信	笹野 眞紀	〒680-0846 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル4階 TEL: 0857-24-3536 FAX: 0857-29-6741 E-mail: kitarc@infosakyu.ne.jp	ホテルモナーク鳥取 (火)
鳥取西	西尾 正博	山根 宗信	〒680-0822 鳥取市今町2-112 アクティ鳥取ビル2F TEL: 0857-22-4418 FAX: 0857-22-4419 E-mail: info@twrc.jp	ホテルニューオータニ鳥取 (金)

第2グループ ガバナー補佐 兒嶋 敏雄（米子RC）

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場（例会曜日）
境 港	山崎 慎也	定秀 陽介	〒684-0033 境港市上道町3147 TEL: 0859-44-7845 FAX: 0859-44-7846 E-mail: rcsakai@shirt.ocn.ne.jp	境港市民交流センター みなとテラス (火)
米 子	八幡 康久	入江 道憲	〒683-0823 米子市加茂町2-204 米子商工会議所5F TEL: 0859-33-4601 FAX: 0859-32-0695 E-mail: yonago-r@dream.ocn.ne.jp	ANAクラウンプラザホテル米子 (金)
米子中央	安田 壽朗	大橋 賢二	〒683-0805 米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子3F TEL: 0859-34-3032 FAX: 0859-34-2203 E-mail: yrc3032@fancy.ocn.ne.jp	ANAクラウンプラザホテル米子 (木)
米子東	足立 博俊	中村 剛士	〒683-0805 米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子3F TEL: 0859-32-5531 FAX: 0859-22-8507 E-mail: eastyrc@orange.ocn.ne.jp	ANAクラウンプラザホテル米子 (水)
米子南	松浦 常明	錦織 信雄	〒683-0823 米子市加茂町2-204 米子商工会議所5F TEL: 0859-33-6393 FAX: 0859-33-0077 E-mail: info@yonagominami.com	ANAクラウンプラザホテル米子 (月)

第3グループ ガバナー補佐 小林 祥泰（松江RC）

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場（例会曜日）
松 江	後 藤 勇	友塚 順子	〒690-0874 松江市中原町167-1 3F TEL: 0852-21-6143 FAX: 0852-31-8985 E-mail: office@matsue-rotary.jp	ホテルー畑 (水)
松江東	藤原 勝	和田 紀幸	〒690-0003 松江市朝日町477-17 松江SUNビル4F TEL: 0852-31-4550 FAX: 0852-31-8550 E-mail: matsue-east@nifty.com	ホテルー畑 (木)
松江南	安達 亨	古津 弘也	〒690-0003 松江市朝日町477-17 松江SUNビル4F TEL: 0852-23-3845 FAX: 0852-23-3857 E-mail: matsu-su@sepia.ocn.ne.jp	松江エクセルホテル東急 (月)
松江しんじ湖	古安 正好	小草 牧子	〒690-0003 松江市朝日町477-17 松江SUNビル4F TEL: 0852-28-8208 FAX: 0852-28-8766 E-mail: shinjiko@soleil.ocn.ne.jp	ホテルー畑 (火)
隠岐西郷	前川 昌昭	稲葉 直行	〒685-0013 隠岐郡隠岐の島町城北町1番地（公社）隠岐法人会内 TEL: 08512-2-2824 FAX: 08512-2-4260 E-mail: okirc2690@crux.ocn.ne.jp	隠岐の島町商工業振興センター (火)

第4グループ ガバナー補佐 池淵 俊雄 (出雲中央RC)

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場(例会曜日)
平 田	土江 光二	三好 洋平	〒691-0001 出雲市平田町2280-1 TEL: 0853-63-3232 FAX: 0853-63-5365 E-mail: office@hirata-rotary.jp	ホテルほり江 (木)
出 雲	松井 修一	御船 善弘	〒693-0011 出雲市今市市743-22 ゆめつくす新町2F TEL: 0853-21-0605 FAX: 0853-21-8353 E-mail: izumorc@tx.miracle.ne.jp	ホテル武志山荘 (火)
出雲中央	児 玉 治	久屋 貴弘	〒693-0004 出雲市渡橋町831 出雲ロイヤルホテル内 TEL: 0853-20-0990 FAX: 0853-31-5181 E-mail: chuorc@white.plala.or.jp	出雲ロイヤルホテル (月)
出 雲 南	松 本 毅	浅津 和人	〒693-0004 出雲市渡橋町831 出雲ロイヤルホテル内 TEL: 0853-20-0373 FAX: 0853-21-2888 E-mail: minamirc@white.plala.or.jp	出雲ロイヤルホテル (金)
大 社	草谷 千亜希	園山 隆一	〒699-0711 出雲市大社町杵築南1344 出雲商工会2F TEL: 0853-53-4552 FAX: 0853-53-3103 E-mail: taisharc@taisha-rotary.org	出雲商工会 (水)

第5グループ ガバナー補佐 森本 恭史 (益田RC)

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場(例会曜日)
江 津	増田 敏弘	井上 智道	〒695-0016 江津市嘉久志町2306-4 江津商工会議所内 TEL: 0855-52-2268 FAX: 0855-52-1369 E-mail: yokoro-kyomi@gotsucci.or.jp	パレス和光 (水)
浜 田	鶴田 英也	木 戸 淳	〒697-0026 浜田市山田町1668 浜田商工会議所3F TEL: 0855-22-9651 FAX: 0855-22-9669 E-mail: hamadarc@orion.ocn.ne.jp	浜田ニューキャッスルホテル (木)
益 田	佐々井 千恵子	青木 正美	〒698-0003 益田市乙吉町イ336-4 インペリアルビル1F サウンドパレット内 TEL: 080-2923-1616 FAX: 0856-23-7379 E-mail: rcmasuda@tx.miracle.ne.jp	益田商工会議所2F (金)
益 田 西	田 原 毅	羽柴 貴宏	〒698-0033 益田市元町12-7 益田商工会議所3F TEL: 0856-23-3392 FAX: 0856-23-4069 E-mail: msd-wrc@circus.ocn.ne.jp	益田商工会議所2F (水)
大 田	森山 康仙	田原 将志	〒694-0041 大田市長久町長久口266-20 TEL: 0854-82-5121 FAX: 0854-82-5121 E-mail: oda-rc@ginzan-tv.ne.jp	大田商工会議所3F (木)

第6グループ ガバナー補佐 枝木 恭平 (笠岡RC)

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場(例会曜日)
井 原	片山 浩二	長尾 知之	〒715-8691 井原市七日市町13 TEL: 0866-75-4715 FAX: 0866-75-4715 E-mail: ibara_rc@ibara.ne.jp	井原市地産産業振興センター (水)
笠 岡	大山 桂之	藤澤 晴康	〒714-0086 笠岡市五番町6-20 笠岡グランドホテル内 TEL: 0865-63-5226 FAX: 0865-63-5229 E-mail: kasa-rc@kcv.ne.jp	笠岡グランドホテル3F (火)
笠 岡 東	池 田 孝	中濱 庸幸	〒714-0086 笠岡市五番町6-20 笠岡グランドホテル内 TEL: 0865-63-5455 FAX: 0865-63-5446 E-mail: kasaokae@kcv.ne.jp	笠岡グランドホテル3F (金)
新 見	柴田 政伸	佐々木秀臣	〒718-0017 新見市西方450-12 TEL: 0867-72-4461 FAX: 0867-72-4461 E-mail: niimi-rc2690@mx31.tiki.ne.jp	ホテルエイコー (木)
総 社	上野 英子	土井 章光	〒719-1131 総社市中央6丁目9-108 総社商工会館3F TEL: 0866-93-4144 FAX: 0866-93-4121 E-mail: soja-rc@wit.ocn.ne.jp	国民宿舎 サンロード吉備路 (木)
総社吉備路	河本 一平	安原 大輔	〒719-1136 総社市駅前1-6-43 TEL: 0866-93-5115 FAX: 0866-93-3132 E-mail: sojakibijrc@mx9.kct.ne.jp	国民宿舎 サンロード吉備路 (火)
高 梁	西川 浩二	竹谷 義宏	〒716-0023 高梁市鍛冶町153-3 TEL: 0866-22-6524 FAX: 0866-22-6970 E-mail: t-rc@mx31.tiki.ne.jp	高梁国際ホテル (水)
玉 島	片山 洋太郎	中塚 裕和	〒713-8122 倉敷市玉島中央町2-3-12 玉島商工会館内 TEL: 086-522-6722 FAX: 086-527-7478 E-mail: tamashima-rc@mx1.tamatele.ne.jp	国民宿舎良寛荘 (水)

第7グループ ガバナー補佐 岡本 研作 (倉敷RC)

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場(例会曜日)
児 島	難波 恭一郎	佐野 智明	〒711-0911 倉敷市児島小川1-61-2 児島労務協会内 TEL: 086-472-4419 FAX: 086-472-4410 E-mail: kojimarc@beach.ocn.ne.jp	せとうち児島ホテル (火)
児 島 東	片山 彰造	神馬真一郎	〒711-0913 倉敷市児島味野2-2-39 三宅ビル5F TEL: 086-473-6112 FAX: 086-474-6051 E-mail: kojimaeastrc@vp.tiki.ne.jp	児島東RC事務局内 (月)
倉 敷	小笠原 敬三	目黒 隆三郎	〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 倉敷商工会館4F TEL: 086-427-5811 FAX: 086-427-5858 E-mail: info@kurashiki-rc.com	倉敷国際ホテル (木)
倉敷中央	千田 修志	加藤 優子	〒712-8051 倉敷市中畝6-6-17 2F TEL: 086-450-3732 FAX: 086-450-3731 E-mail: rotary@h.do-up.com	倉敷国際ホテル (月)
倉 敷 東	藤田 康孝	内田 直孝	〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 倉敷商工会館4F TEL: 086-427-5822 FAX: 086-427-5858 E-mail: ekurashikirc@mx9.tiki.ne.jp	倉敷アイビスクエア (月)
倉 敷 南	浅見 忠世	横 道 彰	〒712-8051 倉敷市中畝6-6-17 2F TEL: 086-450-3730 FAX: 086-450-3731 E-mail: rc@kurashiki-minami.gr.jp	倉敷アイビスクエア (金)
倉敷水島	近藤 修六	太田 博朗	〒712-8051 倉敷市中畝6-6-17 2F TEL: 086-450-3732 FAX: 086-450-3731 E-mail: rotary@h.do-up.com	JFEスチール(株)西日本製鉄所 倉敷地区 広江クラブ (水)
倉敷瀬戸内	今村 隆英	藤原 剛志	〒710-0803 倉敷市中島267-1 小野ビル2F北 TEL: 086-466-3959 FAX: 086-466-3969 E-mail: setouchi-rc@mx3.tiki.ne.jp	倉敷ロイヤルアートホテル (火)

第8グループ ガバナー補佐 前原 知明 (津山中央RC)

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場(例会曜日)
真 庭	富岡 裕和	建井 輝子	〒719-3201 真庭市久世2482-7 TEL: 0867-42-5340 FAX: 0867-42-5339 E-mail: maniwarc@mx32.tiki.ne.jp	真庭ロータリー会館 (火)
美 作	中尾 正明	中西 竜太	〒707-0004 美作市入田221-1 バティオ221内 TEL: 0868-72-3725 FAX: 0868-72-0247 E-mail: mimasaka-r@gaea.ocn.ne.jp	作東バレンタインホテル (火)
津 山	苅田 裕也	亀 井 朗	〒708-0022 津山市山下30-9 津山商工会館内 TEL: 0868-22-4513 FAX: 0868-25-1306 E-mail: jimu@tsuyamarc.jp	ザ・シロヤマテラス津山別邸 (金)
津山中央	石井 香里	松尾 俊明	〒708-0022 津山市山下30-9 津山商工会館内 TEL: 0868-23-7150 FAX: 0868-23-5785 E-mail: t-chuo@tvtnet.ne.jp	ザ・シロヤマテラス津山別邸 (木)
津 山 西	岸部 貴之	廣澤 博文	〒708-0022 津山市山下30-9 津山商工会館内 TEL: 0868-23-0707 FAX: 0868-23-5785 E-mail: t-west@tvtnet.ne.jp	ザ・シロヤマテラス津山別邸 (水)

第9グループ ガバナー補佐 松井 浩明 (岡山後楽園RC)

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場(例会曜日)
備 前	幡山 寛念	神田 英則	〒705-0022 備前市東片上230 備前商工会議所内 TEL: 0869-64-0485 FAX: 0869-64-0485 E-mail: info@bizen-rc.com	伊部・藤井会館 (金)
岡 山	梶原 行正	林 光 洋	〒700-0827 岡山市北区平和町1-10 高塚ビル2F TEL: 086-233-7300 FAX: 086-225-5300 E-mail: owj-rc@po.harenet.ne.jp	ホテルグランヴィア岡山 (水)
岡 山 東	齋藤 信也	平井 真也	〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6F 西F号室 TEL: 086-222-9590 FAX: 086-224-4288 E-mail: oke@ok6rc.jp	岡山ブラザホテル (木)
岡山北西	笠原 英司	与田 卓士	〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6F 西F号室 TEL: 086-222-9590 FAX: 086-224-4288 E-mail: hokusei@ok6rc.jp	ホテルグランヴィア岡山 (月)
岡山後楽園	鳥越 貞成	大田 淳一	〒700-0813 岡山市北区石関町2-1 岡山県総合福祉会館1F TEL: 086-238-5133 FAX: 086-238-5155 E-mail: okayama-korakuenrc@juno.ocn.ne.jp	アークホテル岡山 (木)

第10グループ ガバナー補佐 大岩 道典 (岡山南RC)

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場(例会曜日)
岡山旭川	難波 俊弘	谷本 博樹	〒700-0904 岡山市北区柳町2-11-20 ダイトクビル3F TEL: 086-801-0080 FAX: 086-221-5353 E-mail: info@okayama-asahigawa-rc.com	アークホテル岡山 (水)
岡山中央	尾坂 明義	勝本 光平	〒700-0971 岡山市北区野田3-4-2 メディカビル3F TEL: 086-238-2862 FAX: 086-238-2990 E-mail: oka.chuo.rc@gmail.com	ホテルグランヴィア岡山 (金)
岡 山 北	高 畠 浩	砂田 信義	〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6F 西F号室 TEL: 086-222-9590 FAX: 086-224-4288 E-mail: okayamakita@ok6rc.jp	ホテルグランヴィア岡山 (火)
岡 山 南	黒瀬 仁志	安井 英規	〒700-0824 岡山市北区内山下2-1-12 西村ビル3階 TEL: 086-233-3733 FAX: 086-231-9580 E-mail: okayama-south-rc@po.harenet.ne.jp	ANAクラウンプラザホテル岡山 (火)
玉 野	川口 雅之	谷口 康則	〒706-0011 玉野市宇野1-11-1 TEL: 0863-33-2228 FAX: 0863-33-2225 E-mail: tamanorc@gray.plala.or.jp	4～9月瀬戸内温泉たまの湯 10月～3月瀬戸大橋C.C. (水)

第11グループ ガバナー補佐 藤澤 敏典 (岡山西南RC)

クラブ名	会 長	幹 事	事務所住所 TEL・FAX・E-mail	例会場(例会曜日)
岡山備南	河口 亮一	高旗 博文	〒700-0975 岡山市北区今8-14-28 合同ビル2F TEL: 086-245-3318 FAX: 086-245-3080 E-mail: binan-rc@mx91.tiki.ne.jp	岡山国際ホテル (水)
岡 山 城	笠原 武	平 島 厚	〒700-0827 岡山市北区平和町1-10 高塚ビル2F TEL: 086-233-7300 FAX: 086-225-5300 E-mail: owj-rc@po.harenet.ne.jp	岡山プラザホテル (火)
岡山岡南	榎谷 公登	守 時 泉	〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6F 西F号室 TEL: 086-222-9590 FAX: 086-224-4288 E-mail: kohnan@ok6rc.jp	アークホテル岡山 (火)
岡山丸の内	布目 浩二	嶋宮 尚公	〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6F 西F号室 TEL: 086-222-9590 FAX: 086-224-4288 E-mail: marunouchi@ok6rc.jp	ANAクラウンプラザホテル岡山 (水)
岡 山 西	岩 居 博	永瀬 忠亮	〒700-0827 岡山市北区平和町1-10 高塚ビル2F TEL: 086-233-7310 FAX: 086-225-5300 E-mail: owj-rc@po.harenet.ne.jp	ANAクラウンプラザホテル岡山 (月)
岡山西南	田中 英樹	上田 泰輔	〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6F 西F号室 TEL: 086-222-9590 FAX: 086-224-4288 E-mail: office@okayama-sw-rc.jp	ホテルグランヴィア岡山 (木)

主催者名簿

地区ガバナーエレクト	坂 口 元 昭	(米子南 RC)
次期地区ラーニングファシリテーター	庄 司 尚 史	(境港 RC)
第 1 グループ 次期ガバナー補佐	小 谷 文 夫	(鳥取 RC)
第 2 グループ 次期ガバナー補佐	兒 嶋 敏 雄	(米子 RC)
第 3 グループ 次期ガバナー補佐	小 林 祥 泰	(松江 RC)
第 4 グループ 次期ガバナー補佐	池 淵 俊 雄	(出雲中央 RC)
第 5 グループ 次期ガバナー補佐	森 本 恭 史	(益田 RC)
第 6 グループ 次期ガバナー補佐	枝 木 恭 平	(笠岡 RC)
第 7 グループ 次期ガバナー補佐	岡 本 研 作	(倉敷 RC)
第 8 グループ 次期ガバナー補佐	前 原 知 明	(津山中央 RC)
第 9 グループ 次期ガバナー補佐	松 井 浩 明	(岡山後楽園 RC)
第 10 グループ 次期ガバナー補佐	大 岩 道 典	(岡山南 RC)
第 11 グループ 次期ガバナー補佐	藤 澤 敏 典	(岡山西南 RC)
次期地区代表幹事	坂 本 高 司	(米子南 RC)
次期地区会計長	鶴 田 和 彦	(米子南 RC)
次期地区大会実行委員長	本 田 雅 一	(米子南 RC)
次期地区副代表幹事	田 中 貴 之	(米子南 RC)
次期地区副代表幹事	鹿 島 康 裕	(米子南 RC)
次期地区庶務幹事	岡 田 啓 介	(米子南 RC)
次期地区庶務幹事	細 田 克 彦	(米子南 RC)
次期地区庶務幹事	谷 川 洋 二	(米子南 RC)
次期地区幹事	佐 々 木 義 敬	(米子南 RC)
次期地区幹事	廣 谷 栄 一	(米子南 RC)
ホストクラブ会長	中 津 尾 直 己	(米子南 RC)
ホストクラブ会長エレクト	松 浦 常 明	(米子南 RC)
ホストクラブ幹事	川 上 登	(米子南 RC)
ホストクラブ次期幹事	錦 織 信 雄	(米子南 RC)

参 考 資 料



管理委員長エレクトのスピーチ

ホルガー・クナーク

2025 年 2 月 12 日

皆さん、こんにちは。

お話を始める前に、ジェニファー・ジョーンズ元会長の感動的なスピーチに感謝したいと思います。ジェニファーさんにはこの後で再び登場していただきますが、私からこれ以上話すことでサプライズを台無しにしたくありません。

また、国際ロータリー職員のレイチェル・レイミーさんには、ロータリー財団グローバル補助金の価値について、示唆に富んだプレゼンテーションをしていただきました。私たちのために働き、私たちの活動を支えているのは、プロフェッショナルな素晴らしい職員の方々です。素晴らしい専門知識と熱意をもつ彼らから、私たちは多くを学ぶことができます。

アーチ・クランフが1917年にロータリー財団の設立を提案したとき、クランフは、会員が協力して地域社会に奉仕することを望んでいました。クランフは、ロータリーがこうした活動を将来にも継続できるよう、財団の設立を考えたのです。この考え方は今日においても重要な意味を持ち、「手を取りあって持続可能な変化をもたらす」というロータリーのビジョンと一致しています。

ロータリーがこれまで以上に皆さんからのご支援を必要とするのは、このためです。

支援と感謝を示す方法は数多くあります。ロータリー財団の次期管理委員長である私が、感謝の気持ちを表す一番の方法は寄付だと申し上げても、驚かれないでしょう。すべての地区ガバナーが個人的に寄付し、自身の感謝の気持ちを表すことができれば、素晴らしいことだと思います。地区の会員から尊敬されている皆さんからのご寄付は、財団が皆さんにとってどのような存在かを示すことができる重要なメッセージとなります。

ここにいる全員が、間もなく、クラブ訪問を開始し、地区内を回ることになります。この訪問は非常に重要です。多くのロータリー会員にとって、次年度に会うロータリーの最高レベルのリーダーは、皆さんであるかもしれないからです。多くの会員は、ロータリー国際大会に出席することもなければ、ロータリー雑誌の紙面以外でロータリー会長を見ることもありません。一方、皆さんには、会員に直接話すチャンスがあります。ロータリー財団を支援することは、皆さんの重要な仕事の一部です。皆さんの声は確実に届きます。

ロータリー財団がどのような活動を行い、財団がロータリーの使命にとっていかに重要であるか、財団がいかに独特かつ効果的な存在であることを知らない会員が、まだ大勢いるかもしれません。そこで、これらの会員にお話しいただく際の簡単なポイントをいくつかご提案します。

資金の使途に関する多くの決定を、地区補助金およびロータリー重点分野におけるグローバル補助金を通じて、皆さん、すなわち、地区、クラブ、寄付者が行っているという点で、ロータリー財団は独特な存在です。

ロータリー平和センターでは、紛争解決の専門家を育成し、積極的平和を支えるためのスキルを構築しています。私たちは、ロータリー財団の活動すべてを大いに誇りとすべきです。

ロータリー財団は、ポリオ根絶の目前にまで近づき、世界中の医療システムにとって欠かせないパートナーとなっています。私たちのパートナー団体は、財団独自の強みを認めてくれています。

ザンビアでの初の大規模プログラム補助金では、公衆衛生の強化とマラリア撲滅のために、ロータリーが2,500人のコミュニティヘルスワーカーの研修を支援しました。この成功を受け、アフリカ4カ国での医療改善のためにロータリーが引き続きリーダー的役割を担うことを、パートナー団体であるゲイツ財団とワールドビジョンがロータリーに提案してきました。その結果として誕生したのが、3,000万米ドルの「ロータリー健康な地域社会チャレンジ」です。

このことは、私たちの財団に対する強い信頼の表明です。これらのパートナー団体は、財団との新たな協力の機会を求めているのです。ほかの主要なグローバル団体がロータリーに寄せる信頼は、引き続き私たちの価値が認められていることの証でもあります。

強力なパートナー団体との大規模なプロジェクトが、より永続的な変化を生み出し、可視性を高めることを、私たちは学びました。

ロータリー財団は信頼のおける存在です。非営利団体の大手格付け機関であるCharity Navigatorから、何年も連続して4つ星の評価を得ていることは、皆さんもご存じの通りです。とはいえ、私たちの財団の価値は、評価だけで語れるものではありません。

ロータリーからポリオ根絶への寄付に対し、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せしてくれていることを、私たちはとても誇りに感じています。これは、仮想空間で起こっていることではありません。毎年、私たちが5,000万米ドルを集め、ポリオ根絶活動に配分した後、ゲイツ財団が1億米ドルの現金を入金します。これは、私たちが同意事項を守っているから、そして信頼されているからこそ、実現しているのです。

私たちの手に委ねられた資金が適切に使用されることを、ゲイツ財団は知っています。

ロータリー職員のプロ意識も、ロータリーの活動に大きな価値を付加しています。ロータリーの活動が効率的なのは、証拠に基づくプロジェクトを入念に計画、実施、モニタリング、管理しているからです。

また、クラブが持続的なインパクトをもたらすグローバル補助金を立案できるよう支援する、会員から成る財団専門家グループ(Cadre)もあります。

しかし、最も重要なのは、非常に献身的な会員から成る素晴らしいクラブが、どこにでもあるという事実です。ロータリーはすべての地域社会にあり、地元で活動できます。これは、ロータリーが効果的であることの、もう一つの理由です。

友人の皆さん、大勢の人に持続可能な変化をもたらしている、大きなインパクトのあるプロジェクトの素晴らしい例は数千とあります。私たちは皆、ロータリー財団を誇りとすることが出来ます。

私たちの活動はどれも必要不可欠であり、だからこそ、継続的なファンドレイジングが重要となります。ロータリー財団管理委員会は、2025-26年度に5億米ドルという野心的なファンドレイジング目標を定めました。目標は野心的であるべきです。

私たちはチームとして協力し、計画に示された目標を達成します。この目標の達成の土台となるのは、もちろん、「Every Rotarian, Every Year」です。

年次寄付を行うことの大切さを皆さんがクラブと会員に説得する際に、私がお話ししたポイントが役立つことを願っています。

また、ポール・ハリス・ソサエティへの認識を高めていただくことも重要です。ポール・ハリス・ソサエティを通じて、ロータリー会員は毎年、年次基金に寄付することを約束します。これは、メジャードナーへと至る素晴らしい道となります。

ところで、恒久基金を2025年6月末までに20億2,500万米ドルにするという目標を達成するために、まだ時間があります。来る地区行事で、遺贈または寄付を呼びかけ、この目標の達成にご協力ください。

ポリオプラス・プログラムのために毎年5,000万ドルを集めるのは、大変なことです。しかし、私たちは、時に国際財団活動資金(WF)からわずかな援助を受けながら、常にこれを達成してきました。

もちろん、ご存じの通り、各クラブから少なくとも1,500米ドルの寄付、各地区から地区財団活動資金(DDF)の20%の寄贈を奨励することで、私たちはポリオ根絶活動を支えてきました。友愛の家のブースで、ポリオのためにDDFを誓約することをお忘れのないようお願いいたします。

最後に、地区でポリオ・プラス・ソサエティを設立または継続することも、支援方法の一つです。地区が運営するこの認証は、個人からポリオプラスへの継続的な寄付を称えるものです。

過去1年間、私たちは、世界で、特に紛争や戦争が起きている地域で、依然としてポリオが蔓延する大きなリスクにさらされていることを身をもって知りました。残念ながら、このことが、特に危機的状況にある地域でポリオ感染数が増加している理由です。この数字はまた、ポリオが瞬く間に再発してしまうことも示しています。

ガザでも先日、そうなってしまいました。予防接種が行われない期間が1年以上続いた後、生後8カ月の男の子がポリオに感染したのです。

幸いなことに、ガザでは例年ワクチン接種率が非常に高く、今回のポリオ発生への対応も素晴らしかったため、それ以上の子どもが発症することはありませんでした。人道的停戦を可能としたのがポリオ予防接種キャンペーンだけであったことは、素晴らしいと思いませんか？

そこではロータリーも一役買いました。私たちは、ポリオ対応基金にロータリー補助金を提供することで、ワクチンやほかの支援が迅速に入手できるよう援助しました。

ポリオウイルスは、ヨーロッパや米国の廃水からも頻繁に検出されています。これは、ポリオを完全に根絶しない限り、子どもへの危険がなくなることを再認識させます。ポリオを完全に根絶することこそ、私たちロータリアンが世界の子どもたちに約束してきたことです。皆さんからのご寄付は、この恐ろしい病で苦しむ子どもが二度といなくなることを保証するためのものです。共に ポリオをなくしましょう。

ご清聴ありがとうございました。



事務総長の講演

ジョン・ヒューコ

事務総長

2025 年 2 月 10 日

皆さま、こんにちは。

毎年、国際協議会は、ロータリーが直面するであろう課題に立ち向かう次世代のリーダーを育成する場となっています。しかし、マリオ会長エレクトが今朝指摘したように、これらの課題のいくつか、特に会員増強に関するものは、非常に長い間、繰り返し取り上げられてきました。

これらの課題に対処し、ロータリーが発展していくには、大胆かつ革新的で、さらには革命的である必要があると考えます。つまり、従来のクラブとは異なる、新しい革新的なクラブを結成する必要があるということです。しかし、それは既存のクラブに変更を加えることも意味します。そうすることで、新しくエキサイティングなクラブになります。新しい会員を惹きつけることと同じくらい、現会員を維持することも重要です。こうしたことは、私たちの組織を成長させ、会員増強の課題に対応するための鍵となります。

また、行事、プログラム、奉仕の機会を通じて、ロータリーに人びとを参加させる新しい方法を見つけることも意味します。実際、私たちのビジョン声明は、会員だけでなく、人びとを団結させて行動を起こすことを目指しています。なぜなら、学友や地域社会のパートナーなど、すべての参加者がロータリーの成功に貢献しているからです。

ここで、新クラブを結成し、クラブ会長を前向きな変化へと導くガバナーの責務についてお話しする前に、事業経営の経験がある方なら誰でもよく理解しているはずの「顧客を知ること」についてお話ししたいと思います。

例えば、皆さんが新しいコーヒーショップを開業したいと思った場合、空き店舗を探し、賃貸料を支払い、設備を購入し、スタッフを見つけ、開店するだけで、うまくいくこともあるかもしれません。しかし、その地域について理解していれば、成功の可能性はもっと高まるでしょう。その周りにはどれくらいの通行量があるでしょうか。競合店はどのくらいあるでしょうか。その地域にはコーヒーを飲む人が多いでしょうか、それとも紅茶を好む人が多いでしょうか。

賢明な事業主であれば、こうした調査を行い、適切な場所を見つけ、顧客の興味を引くようなメニューを考案し、近隣の事業者と関係を築いて、顧客をこちらに回してもらえるようにするでしょう。

ロータリークラブも同じことをする必要があります。私たちは、市場にクラブの体験というプロダクトを提供していることを認識する必要があります。私たちは、そのプロダクトに対して時間とお金を支払っています。そして、ロータリーに引き入れたい人びとに対して、そのプロダクトの価値

を提示する必要があります。しかし、世界中の多くの地域で、そしてあまりにも多くのクラブで、そのようなことはしていません。

ロータリーが提供していることの重要な部分とは、地域社会で行っている奉仕と、私たちがもたらしているインパクトです。そこで、私の地区での話をさせてください。私は、ウクライナの第2232地区にあるキーウ・ロータリークラブに所属しています。ウクライナでの戦争は、同国のロータリアンに想像を絶する苦難をもたらしましたが、同時に、ウクライナのロータリー会員の強さとレジリエンス(困難からの回復力)を明らかにしました。

紛争が続いているにもかかわらず、クラブは活動を継続しているだけでなく、ますます活気づいています。なぜでしょう。それは、自国や地域社会とのつながりを深めているからです。ウクライナのクラブは、包囲された地域社会の変化するニーズを理解するために活動してきました。人道的支援の提供、避難を余儀なくされた家族への支援、地元のリーダーとの協力による地域社会のレジリエンスの強化など、ウクライナのクラブは、同国の適応と生存において信頼のおけるパートナーとなっています。

その献身的な活動は、人びとの注目を集めています。ウクライナでは、戦争のさなかにもかかわらず、ロータリーの活動に感銘を受け、貢献したいと考える人びとがロータリークラブに入会し、会員数は50%増加しました。また、戦争が始まって以来、救援活動に8,000万米ドルを寄付した世界中のロータリー会員の寛大さも、大きなインパクトを与えています。

では、なぜ私はウクライナについて言及しているのでしょうか。ここで得られる教訓は明白であり、すべての地域社会にも当てはまるからです。私たちの地域社会を真に理解するために力を注ぐ、つまり、ニーズに耳を傾け、リーダーと協力し、思いやりを持って奉仕するとき、人びとは自然と私たちの仲間になり、私たちのプロダクトを買いだめすると思うような環境がクラブに生まれます。

ロータリーは画一的な組織ではなく、また、そうあるべきではないことは皆が知るところです。会員やその他の参加者が最も関心をもてる方法で、参加してもらう必要があります。それは、身近な課題の解決であったり、地球の裏側に住む人びとを支援するための協力であったりします。これを効果的に行うには、ロータリーはポール・ハリスの知恵に従う必要があります。ハリスは、ロータリーは常に進化し続け、時には革新をもたらさなければならないと述べました。

まさに今がその時なのです。そして、この革新はクラブレベルから始まらなければなりません。特に、苦戦を強いられているクラブにおいてです。世界中の多くの地域で、ロータリーの基盤である伝統的なクラブのモデルが、ライフスタイルや優先事項、期待の変化に追いついていないのが現状です。この革新では、積極的参加、奉仕、インパクトに重点を置く必要があります。

ここで、ロータリーの調査から得られた驚くべき事実をお話したいと思います。ロータリーと有意義な関わりを持つ人びとを対象に調査を行ったところ、回答者の大半がクラブへの入会に関心がないことが分かりました。これらの人びとはロータリーに対して非常に好意的な見方をしており、私たちの活動も目にしています。しかし、何らかの理由でクラブへの入会をためらっているのです。

また、調査の結果、奉仕団体に所属していない人のうち、そのような団体への参加に関心があ

るのはわずか5%であることも分かりました。これは二つのことを意味します。まず、その5%の人びとを惹きつけるために、最善のモデルを構築する必要があります。そうすれば、これらの人びとに最初にアプローチすることができます。世界人口の5%は、それほど大きな数字ではないように思えるかもしれませんが、実際には4億人です。彼らがどこにいるのかを特定し、彼らに最も強くアピールする必要があります。そして二つ目は、ロータリーが提供していることを十分に理解していない人びとにも、ロータリーを広くアピールする必要があるということです。

そこで、皆さんのご協力をお願いしたいことがあります。クラブを訪問し、クラブ会長と話す際には、ロータリーの方針にはかなりの柔軟性があることを理解してもらえようご説明ください。毎週例会を開く、同じ時間帯に例会を開く、または同じ形式に固執しなければならないといった義務はありません。ロータリーの伝統は重要です。しかし、伝統とは私たちが作るものであって、伝統が私たちを作るわけではありません。

そのためロータリーでは、クラブで革新的なアイデアを試したり、型にはまらない考え方をしたりすることが認められています。皆さんには、そのことを広めていただく必要があります。もちろん、ロータリーには決して変えてはならないものもあります。ロータリーの価値観、奉仕への献身、親睦、そして四つのテストへの信念です。従来型のモデルがクラブでうまく機能しているのであれば、それでも構いません。しかし、そうでない場合、そのクラブは変革を迫られています。

ここで、新しいアプローチをいくつか見てみましょう。クラブによっては、奉仕活動のみを行う例会を試しているところがあります。また、ネットワーキングに重点を置くクラブや、例会場所をローテーションするクラブもあります。新型コロナウイルスの流行時にオンライン例会を経験し、その良さに気に入って、対面式とオンライン式を組み合わせたハイブリッド型になったクラブもあります。バーチャルな要素は、会員や非会員を問わず、世界中の人びとと関わることを可能にします。また、対面式の例会と同様に、奉仕プロジェクトを強化することができます。

また、ロータリー会員は現在、地域社会調査、奉仕プロジェクトの実施に関するブレインストーミング、さらには多言語を必要とするクラブでの翻訳作業に、AI(人工知能)を活用しています。今、携帯電話でロータリーのコーヒーショップを検索している皆さん、そのコーヒーショップは存在しません。皆さんが目にした画像はAIによって生成されたものです。

つまり、私たちの周りには、あらゆる革新が存在しているのです。クラブが革新のアイデアをさらに必要としている場合、ロータリー行動計画は、クラブが提供する体験を再考する上で、非常に役立つリソースとなります。そこで、皆さんにお願いしたいのは、これらの革新を推進し、そして何よりも、クラブ会長に「今こそ革新的な行動を起こす時だ」と伝えることで、変化の担い手となっていただくことです。なぜなら、皆さん一人ひとりが、その革新の重要な一部であるからです。

さて、地区ガバナーとして、皆さんの主な責務の一つは、新クラブを設立することです。皆さんの裁量で設立できるクラブには、さまざまな種類があります。その例をいくつかご紹介します。ロータリーのデータによると、分野特化型クラブへの関心が高まっています。ここ数年、インド、アフリカ、ヨーロッパなど、さまざまな地域でそのようなクラブが活発に活動しています。また、世界中の人びとが参加できるEクラブもあります。マリオ会長エレクトは、衛星クラブについてスピーチで触れました。そして最後に、いわゆるインパクト・クラブまたはコンパニオン・クラブと呼ばれるクラブもあります。これは、既存の従来型クラブのコンパニオン(仲間)となるクラブです。会員は、既存の従来型クラブに正会員として会費を支払いますが、例会への出席は義務付けられ

ておらず、奉仕活動のみを行います。

このようなインパクト・クラブやコンパニオン・クラブは、週末の奉仕活動に関心のある若い専門職の人びとにとって魅力的な存在となっており、繁栄しています。退会率は従来型クラブの半分程度です。

先ほど申し上げたように、新クラブの設立は地区ガバナーの責務です。過去5年間で、全地区の約20パーセントが一つも新クラブを設立していません。一つもです。昨年、新クラブを設立した地区は半数以下でした。

これは変えなければなりません。なぜなら、私たちの最大の成長機会は、何か新しいことを求めている人びとから生まれるものだからです。そして、この変化は、皆さん一人ひとりから始まらなければなりません。もしすべての地区が五つの新しいロータリークラブを結成したら、それはすべての地区で100人の新しいロータリー会員が誕生することを意味します。毎年52,000人の新会員が誕生することになります。そして、私たちが現会員と新会員を維持するために努力すれば、ロータリーの成長は目覚ましいものとなるでしょう。

そこで、これまで十分に話し合っただけでなかった話題に戻り、奉仕への献身と会員増強・維持に焦点を当てる必要性を組み合わせた行動の呼びかけをもって、私の話を締めくくりたいと思います。先ほど、4億人もの人びとがどこかにいるけれど、それらの人びとを特定するのは容易ではないという話をしました。これまでの経験から、そうした人びとを惹きつける最善の方法は、地域社会と密に関連した団体となることだと分かっています。

インドでは、多くの人が不可能と考えていたポリオ根絶という偉業にロータリーが貢献しました。この活動は、今でもインド全土で高く評価されており、会員数の大幅な増加という恩恵をもたらしています。

アフリカ全土でも、同様のことが起こっています。ロータリーは、アフリカ大陸からポリオを根絶しただけでなく、エボラ出血熱やその他の致死性の高い病気と闘うための公共保健リソースを構築しました。ザンビアやエジプトといった国々が直面する深刻な問題に取り組むロータリーの継続的な取り組みも注目され、評価されています。そして、アフリカでは会員数が大幅に増加しています。

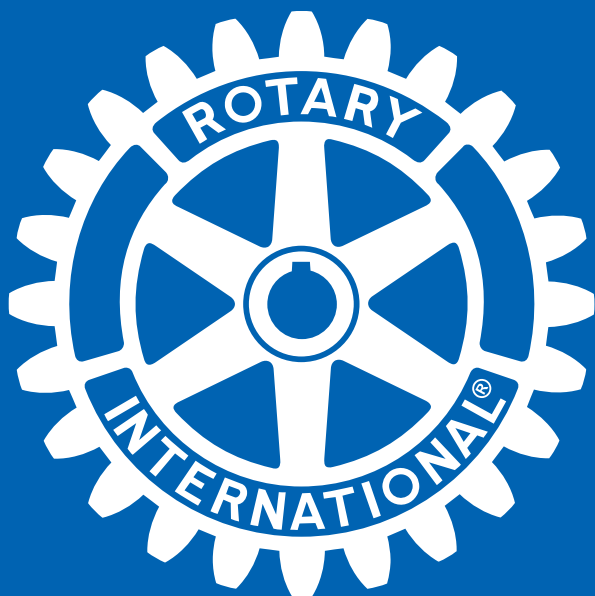
これは、ロータリーが前向きな変化をもたらすために深く関与しているあらゆる場所で起こっていることです。ロータリーが最大の課題を特定し、それに取り組む場所であれば、どこでも成長を遂げているのです。

革命を起こしましょう。ロータリーでつながり、成長し、よいことをしたいという、人びとの願いを実現するためにです。

ロータリーを内側から改革し、私たちが最も必要としている人びとを惹きつけるような方法でクラブを拡大していきましょう。そして、現会員と新会員がロータリーに居続けたくなるような体験とプロダクトを提供していきましょう。新しい革新的なクラブのモデルを創り出していきましょう。

そして、ロータリーが地域社会にとって欠かせない存在となり、どこでも、誰にとっても、よいことのために手を取りあえる場所として知られるようにしていきましょう。

ありがとうございました。引き続き国際協議会をお楽しみください。



ロータリー財団
参照ガイド



目次

ポリオプラス

- ポリオプラス補助金
- ポリオプラス・パートナー
補助金
- ポリオプラス関連リソース

ロータリー平和フェローシップ

- ロータリー平和フェロー
シップ関連リソース

ロータリー健康な地域社会 チャレンジ

補助金

- 補助金の種類
- 大規模プログラム補助金
- 重点分野
- 参加資格認定と資金管理
- 補助金の申請プロセス
- 報告要件
- 補助金関連リソース

ロータリーの学友

- 学友関連リソース

財団の資金

- 年次基金（シェア）
- 災害救援基金
- 恒久基金
- ご寄付の方法
- 財団資金関連リソース

財団での認証

- 個人の認証
- クラブの認証
- 認証ポイント
- 認証関連リソース

一般リソース

- My ROTARY
- お問い合わせ
- 地区とゾーン関連
リソース
- ロータリー事務局

金額表示はすべて米ドルです。

ロータリー財団

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらすために役立てられています。

ポリオプラス

ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目とし、1985年にポリオプラス・プログラムを立ち上げました。世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナー団体との協力を開始した1988年には、125カ国で35万件以上の発症が確認されていましたが、以来、30億人以上の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は99.9%減少しています。

世界からポリオがなくなると認定されるまでに、ロータリーによる世界ポリオ根絶活動への寄付額は31億ドルを超える見込みであり、これにはゲイツ財団からの16億ドルの上乗せ資金も含まれます。

ポリオプラス補助金

ポリオ常在国およびウイルス流入のリスクがある国を中心に、ポリオ根絶活動に充てられ、予防接種キャンペーンとポリオウイルス伝染の監視活動を支援しています。

ポリオプラス補助金は、ポリオプラス基金およびDDF（地区財団活動資金）の寄贈によって調達されます。

提案書は主に、世界保健機関（WHO）やUNICEF（国連児童基金）など主な活動実施者が提出します。管理委員会が定例会合において、ポリオプラス補助金の申請を審査します。

ポリオプラス・パートナー補助金

高優先国のポリオプラス委員長により提出された、緊急の社会動員や監視プロジェクトを支援します。補助金の申請は定期的に審査され、ポリオプラス基金から資金が提供されます。

ポリオプラス関連リソース

- 「End Polio Now」ニュースレター：ポリオ根絶の取り組みに関する最新情報を隔月で紹介。
- ポリオ根絶のリソースセンター：アドボカシー、募金、認識向上などに役立つさまざまな資料を掲載。
- 「End Polio Now」ピン：End Polio Nowのロゴが付いた襟ピン。
- 「ポリオを根絶する5つの理由」チラシ：ポリオのない世界を目指して活動する理由を紹介。

このほかの情報や資料をendpolio.org/jaからご覧いただけます。

ロータリー平和フェローシップ

世界各地の有名大学内にあるロータリー平和センターでは、国際関係、平和研究、紛争解決といった関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決分野の専門能力開発修了証の取得を目指す世界各地の平和・開発のリーダーに、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供しています。

フェローシップは、授業料、入学費、食費と部屋代、往復交通費、インターシップと実地研修の費用に充てられます。その資金は、地区からのDDF寄贈、個人からの冠名指定寄付、恒久基金からの収益、および（必要に応じて）WF（国際財団活動資金）によって支えられています。

地区は毎年、5月15日までにオンライン申請書を提出するために、フェローシッププログラムの周知、および申請者の募集と支援を行います。クラブと地区が候補者を紹介することもできます。毎年、修士号プログラムで学ぶ50名、専門能力開発修了証コースで学ぶ80名までのフェローが選ばれ、管理委員会が選出した候補者には11月に通知されます。

ロータリー平和フェローシップ関連リソース

- [ロータリー平和センターのフェイスブックページ](#)：平和センター、フェロー、平和関連イニシアチブの最新情報。
- [紹介フォーム](#)：フェローシップ申請に関する情報を誰かに送付することを要請するためのフォーム。
- [修了証プログラムのポストカード](#)：修了証プログラムとセンターに関する情報を記載。
- [修士号プログラムのポストカード](#)：修士号プログラムとセンターに関する情報を記載。
- [ロータリー平和フェローシップのプレゼンテーション資料](#)：ロータリー平和センタープログラムの概要。

- [平和推進地区になろう](#)：地区が平和フェローシップを支援する方法を説明したチラシ。

rotary.org/peace-fellowshipsからも情報とリソースをご覧ください。

ロータリー健康な地域社会 チャレンジ

「ロータリー健康な地域社会チャレンジ」は、対象国のロータリー会員が、5歳未満の子どもの最大の死因であるマラリア、肺炎、下痢などによる重篤な病気や死亡を減らすための大規模で効果の高いプログラムを実施できるよう、長期的なリソースを提供するものです。このチャレンジは、特に弱い立場にある人びとに焦点を当て、持続可能な保健システムのアクセスと品質を高めます。

ロータリー財団、ワールドビジョン、ゲイツ財団が協力し、コンゴ民主共和国、モザンビーク、ナイジェリア、ザンビアの4カ国における会員主導のプログラムに合計3,000万ドルを授与します。これらの国は、疾病による負担、ロータリー会員の存在と参加状況、パートナーシップの可能性、各国保健省の戦略との整合性に基づいて選ばれました。

大きな成果と永続的な変化をもたらし、成果測定のためのしっかりとしたモニタリングと評価のシステムを用いたプログラムを立案するために、各々の参加国のロータリー会員が委員会を設置します。このプログラムは、2024年から2027年まで実施されます。

詳しい情報とリソースはmy.rotary.org/rotary-healthy-communities-challengeをご覧ください。

補助金

ロータリー財団の補助金は、クラブや地区が提唱するさまざまな奉仕活動のほか、奨学金や研修を支えています。

補助金の種類

地区補助金

地区補助金は、一括で地区に支払われ、地元や海外のニーズに取り組むために使用できる補助金です。地区は毎年、ロータリー財団の使命を支える地区やクラブの活動（職業研修チーム、奨学金、奉仕プロジェクト、青少年プログラムなど）を支えるために、使用可能なDDF（地区財団活動資金）の50パーセントまでを地区補助金として申請できます（一年に一口のみ。12ページの「年次基金（シェア）」のセクションを参照）。

グローバル補助金

グローバル補助金は、戦略的な観点から大きな影響をもたらす、地区やクラブの活動に使用できる補助金です。大規模で国際的な奉仕プロジェクト、職業研修チーム、奨学金（修士課程または博士課程）のために活用でき、重点分野（8ページを参照）のいずれかにおいて、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められます。

「持続可能性」という言葉は団体によって異なる意味で使われますが、ロータリー財団では、成果が現地で維持され、地域社会のニーズに継続的に応えていけることを意味します。

グローバル補助金による活動の最低予算は30,000ドルです。補助金提唱者は、地区財団活動資金（DDF）、現金、冠名指定寄付と恒久基金の収益を組み合わせることでグローバル補助金に充てることができます。財団は、すべてのDDF寄贈に対し、その80%相当分のWFを上乗せします。WF上乗せの上限額は400,000ドルです（下限額はありません）。

グローバル補助金はすべて、二つのクラブまたは地区が提唱する必要があります（活動の実施国内と実施国外からそれぞれ一つずつ）。

奉仕プロジェクトまたは職業研修チームのためのグローバル補助金を計画する場合、提唱者は、徹底した[地域社会調査](#)を行って現地の歴史、文化、強み、資産、ニーズ、優先を理解する必要があります。また、プロジェクト立案の際に参照した[調査結果](#)を、グローバル補助金の申請書に含める必要があります。計画段階では、地元のロータリー会員やプログラム学友から貴重なアドバイスを得ることができます。

災害救援補助金

災害救援補助金は、過去6カ月間に自然災害により被災した地域における救援および復興活動を支援します。被災地にある資格ある地区は、25,000ドルを上限として補助金を申請できます（ただし災害救援基金の残額状況によります）。地区は、以前の災害救援補助金の報告書が提出済みである場合に限り、追加の補助金を申請できます。

補助金の資金は、水や食料、医薬品、衣服といった基本的な物資の提供に使用できます。申請する地区は、被災地のニーズを特定する責任があります。これらの地区はまた、特定したニーズに補助金を充てるために、地元当局や地元団体と緊密に協力するべきです。

大規模プログラム補助金

この補助金は、重点分野において成果を挙げているロータリー奉仕プロジェクトの証拠、インパクト、持続可能性に基づき、大規模で長期的なプログラムに授与されます。この補助金が支援する取り組みは、ロータリー会員が他団体とのパートナーシップを通じて、より広い地域で、より多くの人に永い恩恵をもたらすものである必要があります。

参加資格のあるロータリークラブ、ローターアクトクラブ、または地区が提唱し、パートナー団体との強い協力の下で実施されるプログラムに対し、ロータリー財団が200万ドルの大規模プログラム補助金を毎年一口授与します。競争制プロセスの第一段階では、プログラムがいかに測定可能な結果を達成してきたか、また、どのように規模を拡大できるかについての説明をまとめたコンセプトノートを提出する必要があります。その後、ロータリー財団専門家グループのメンバーとそのほかの有識者によって最も有望とみなされたコンセプトノートを提出したクラブまたは地区は、プロジェクトの詳細を含む完全な提案書を提出することが求められます。

提案書には、詳細な予算、実施パートナーと出資パートナーからのコミットメントの書簡、プログラムに完全に組み込まれたモニタリング・評価・学習の詳細な計画を含めます。

このほかの情報や資料をrotary.org/programsofscaleからご覧いただけます。

重点分野

ロータリーは、平和の取り組みを支え、ポリオを根絶するために、国際的な協力関係を築き、人びとの生活を改善し、より良い世界をつくることに尽力しています。ロータリーのすべての奉仕プロジェクトはこれらの分野を中心としていますが、グローバル補助金と大規模プログラム補助金による活動はいずれも、ロータリー財団の以下の重点分野の少なくとも一つにおける特定の目標をめざすものであることが条件となります：

- 平和構築と紛争予防
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 地域社会の経済発展
- 環境

各重点分野の具体的目標は、[重点分野の基本方針](#)をご参照ください。

参加資格認定と資金管理

地区で必要な手続き

補助金活動に参加するには、地区がオンラインで参加資格認定手続きを行う必要があります。この手続きでは、地区が「[地区の覚書 \(MOU\)](#)」に記載された財務と資金管理の要件を遵守することに同意します。また、地区内クラブの参加資格を認定するプロセスの一環として、地区は[補助金管理セミナー](#)を実施する必要があります。各地区は、対面式での補助金管理セミナーの代わりに（あるいはそれを補足するものとして）、ラーニングセンターにある[オンラインのコース](#)を利用できます。

クラブで必要な手続き

クラブがグローバル補助金を利用するには、毎年、地区から参加資格認定を受ける必要があります。認定要件として、クラブが地区の実施する補助金管理研修を受け、「[クラブの覚書 \(MOU\)](#)」に署名してこれを遵守し、地区によって定められたその他の要件がある場合は、それも満たす必要があります。

補助金の申請プロセス

クラブと地区は、参加資格の認定を受けた後、[補助金センター](#)（オンライン）から補助金の申請を行うことができます。8月、9月、10月のいずれかの月に留学を開始するグローバル補助金奨学金の申請は、6月30日までに財団に提出する必要があります。また、旅行を含む申請書は、旅行日の90日前までに提出する必要があります。

報告要件

地区補助金とグローバル補助金の報告書を、活動継続中は12カ月毎に、最終報告書は活動の完了から2カ月以内にロータリー財団に提出する必要があります。災害救援補助金の報告書は、支払いから6カ月以内に提出する必要があります。報告書は、[補助金センター](#)を通じて提出します。

補助金関連リソース

- 「[寄付推進&補助金](#)」[ニュースレター](#)：ファンドレイジング（寄付推進）と補助金に関する情報を四半期ごとに紹介。
- [グローバル補助金ガイド](#)：グローバル補助金の管理に関するクラブと地区のための詳しい情報を掲載。
- 「[補助金管理セミナー](#)」[学習プラン](#)：クラブと地区がグローバル補助金を申請し、管理できるようになるための情報を説明したオンラインコースを含む。ラーニングセンターから利用可能。
- [地域社会調査の実施](#)：地域社会のニーズを調べるための方法を紹介。
- [プロジェクトの計画を支援するリソース](#)：プロジェクトの計画と実施に役立つ各種ツールを紹介。

- ロータリー財団専門家グループ (Cadre)
- ロータリー財団 地区補助金 授与と受諾の条件
- ロータリー財団 グローバル補助金 授与と受諾の条件
- ロータリー財団 災害救援補助金 授与と受諾の条件
- 重点分野の基本方針
- 大規模プログラム補助金ハンドブック

ロータリーの学友

ロータリー財団は、その長い歴史の中で、奨学金や職業交換など、さまざまなプログラムを通じて125,000人以上を支援してきました。ロータリー財団の元奨学生、およびローターアクト、インターアクト、青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の元参加者や、地域ごとに運営される奨学金プログラム（米山記念奨学金など）の元受領者は、ロータリーで「学友」と呼ばれています。

才能と熱意のある学友は、ロータリーについての知識があり、国際理解と世界平和を促進するロータリーのビジョンを共有する人びとです。世界中の地域社会に貢献したいと望んでいる学友は大勢おり、ロータリーの力強い支援者となることができます。また、地元や海外の奉仕プロジェクトにボランティアとして参加したり、ロータリーに入会または寄付したりする可能性もあります。ロータリーの行事で講演を行うこともできます（学友からの参加や協力を得たいと考えているクラブは、地区学友委員長にご連絡ください）。

学友関連リソース

- [ロータリー最優秀学友会賞 推薦フォーム](#)
- [ロータリー学友世界奉仕賞 推薦フォーム](#)
- 学友会の「よくある質問」：ロータリー学友会に関する基本情報。
- 「就任の準備：地区学友委員会」のコース（ロータリーのラーニングセンターより）：学友と協力する地区リーダーのための情報とベストプラクティスを紹介。

学友に関するそのほかの情報、学友賞の過去の受賞者、資料のダウンロードは、rotary.org/alumniをご覧ください。か、alumni@rotary.orgまでお問い合わせください。

財団の資金

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。ロータリーの慈善部門である財団は、時間、資金、知識を生かして優先活動（ポリオ根絶や平和の推進など）に取り組む会員の世界的ネットワークを支援しています。

年次基金（シェア）

年次基金（シェア）は、地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源です。

「Every Rotarian, Every Year」の寄付推進活動では、以下のことをロータリー会員にお願いしています：

- 毎年、財団の年次基金に寄付する
- 毎年、財団のプログラムや補助金に参加する

年次基金（シェア）へのご寄付は、人びとの生活をより良くするための補助金となって活用されます。

年次基金（シェア）へのご寄付は、次の二つの資金に分けられます。

- 47.5パーセントがWF（国際財団活動資金）へ
- 47.5パーセントがDDF（地区財団活動資金）へ
- 5パーセントが管理運営費へ

財団は、地区が参加できる国際的な補助金やプログラムにWFを使用します。地区は、地区財団活動資金（DDF）を利用し、地区が選択した財団の補助金やプログラムに資金を充てます。

財団では、寄付の3年後にDDFを使用できる独自の3年周期システムを採用しています。地区は、この3年間に、十分な時間をかけてプログラムの計画や参加者の選考を行うことができます。例として、2022-23年度に行われた寄付の47.5%を、2025-26年度に使用できます。

DDFの用途は、各地区の財団委員会が、クラブの意見を取り入れた上で決定します。地区は、DDFおよび恒久基金への寄付から生じた使用可能な金

額の50パーセントまでを地区補助金として申請できます。地区は、DDFのいかなる額でもグローバル補助金に使用、または寄贈することができます。寄贈する場合は、ポリオプラス、平和構築プログラム、恒久基金、WF（国際財団活動資金）、災害救援基金、または他地区に寄贈できます。

各年度末に5年を超えて未使用であるDDFは、地区の裁量で、ポリオプラス、ロータリー平和センター、恒久基金、災害救援基金、WFのいずれかに充当されます。これは、2026年7月1日から行われます。地区が2026年6月30日までに資金の充当先を財団に通知しない場合、未使用のDDFはWFに充当されます。

DDFは、ロータリー会員が各地域の重要なニーズに取り組むプロジェクトを行うために活用できます。年次基金（シェア）へのご寄付は将来に利用可能なDDFをもたらします。クラブと地区は、ロータリークラブ・セントラルで寄付目標を設定し、進捗を確認・記録すべきです。

シェア以外にも、WFまたはロータリーの重点分野のいずれかを指定して年次基金に寄付することができます。WFまたは重点分野を指定した年次基金への寄付は、クラブの年次基金寄付目標と一人当たりの平均寄付額を計算する際に含まれますが、DDFは生じません。年次基金への寄付はすべて、財団認証ポイント、および「Every Rotarian, Every Year」、「財団友の会」会員、ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティの対象となります。また、クラブ認証の対象となります。

年次基金（シェア）へのご寄付は、財団補助金の主な資金源であるため、強く奨励されています。

災害救援基金

災害救援基金への寄付は、個人とクラブからの現金寄付、またはDDF寄贈によって行うことができます。この基金は、災害救援を目的とした一般的な基金であり、寄付を行うにあたって特定の災害を指定することはできません。災害救援基金への寄付は、財団認証ポイント、およびポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティの認証の対象となります。災害救援基金は年次基金とは別個のものであるため、寄付金はクラブの年次基金目標には含まれず、シェアの計算にも含まれません。また、「Every Rotarian, Every Year」または「財団の友」会員としての資格を得るための計算にも含まれません。

恒久基金

ロータリー財団の恒久基金は、未来のロータリー会員が持続可能なプロジェクトを計画、実行していくために必要な財源となります。恒久基金へのご寄付は投資されて資金を生み出し、財団を通じて国内外で実施されるロータリー会員の慈善活動に役立てられます。管理委員会は毎年、シェア、国際財団活動資金（WF）、ロータリー平和センター、重点分野を含む財団プログラムへの資金の支出を決定します。恒久基金への寄付は、年次基金が支えるのと同じプログラムを永続的に支えるものです。

恒久基金への寄付は、即時の寄付、遺贈や財産の計画寄付、またはその組み合わせで行うことができます。

ご寄付の方法

寄付の送金

ご寄付は、rotary.org/donateからクレジットカードで行えます。または、「[ロータリー日本財団 寄付送金明細書（ロータリー会員／クラブ用）](#)」をご利用ください。クラブ役員は、My ROTARYにログインした上で、クラブまたは会員に代わってオンラインで寄付できます。

不動産や証券など現金以外でのご寄付については、RI日本事務局財団室（問い合わせ先：rijpntrf@rotary.org）までお問い合わせください。

ご寄付の際には、必ず会員ID番号をご明記ください（寄付の記録と認証のために必要となります）。

自動定期寄付

ロータリー定期寄付をご利用いただくと、毎月、四半期、毎年などご希望の頻度で自動的にご寄付いただけます。my.rotary.org/rotary-directからお申込みいただくか、rijpnfs@rotary.orgまでご連絡ください。

寄付者は、My ROTARY（ログインが必要）のマイアカウントのメニューにある「[寄付者専用ページ](#)」からいつでも定期寄付の設定を変更またはキャンセルできます。

クラブ会員の寄付をまとめて送金

「Every Rotarian, Every Year」のイニシアチブは、年次基金への個人的な寄付を通じて、みんなで財団を支援しようというメッセージです。複数のクラブ会員の寄付をまとめて送る場合は、[ロータリー日本財団寄付送金明細書（ロータリー会員／クラブ用）](#)を使用できます。寄付の認証と領収証

の発行は個別に行われます。公益財団法人ロータリー日本財団を通じて寄付を送金することで、日本の税制上の優遇措置を受けることができます。各寄付者の認証と領収証の発行が行われたかどうかの確認は、寄付送金明細書の記入者が行います。

寄付の提出に関する注意事項：

- 寄付者の氏名と寄付額を提出前に再度確認します。
- 寄付を確認し、その際に寄付額を含めます。寄付者の寄付内容と領収証を受け取れるかどうかを確認します。
- 寄付者の認証が適切に行われるよう、会員ID番号を記入します。
- 複数の人の寄付をまとめて送る明細書は、慈善の寄付が税金に関わる個人的な決定であり、寄付者の知識や関与がなければ決定できないことにご留意ください。
- 慈善目的のラッフル（富くじ）大会やゲームからの収益は、個々の会員ではなく、クラブからの寄付としてロータリー財団に提出するのが最善です。クラブや地区による寄付とすることで、誤って領収証を個人に発行するリスクを抑えることができます。

記念寄付／追悼寄付

ロータリー財団では、誰かを称えるため、または追悼を表するための寄付を行うことができます。rotary.org/donateのページで「**ご寄付**」をクリックし、寄付先を選んだ上で、「記念寄付または追悼寄付をしたい」の部分に印を付けてください。

寄付者が認証対象となり、領収証が発行されます。記念寄付を行う相手、または追悼寄付の場合はその家族に、寄付が行われたことがEメールで通知されます（ご寄付の際にその方または家族の正確なEメールアドレスをご入力いただいた場合）。寄付者が通知文書を印刷して相手またはその家族に送ることもできます。

税制上の理由から、実際に寄付する人以外を「寄付者」として寄付を行うことはできません。寄付の名義人となる人は、寄付を行わずに領収証を受理することになり、当人およびロータリー財団を法的リスクにさらすことになります。

ほかの人を対象とする財団認証について詳しくは、「ポール・ハリス・フェロー」と「認証ポイント」の項目をご覧ください。

ご質問がありましたら、memorials@rotary.orgまでお問い合わせください。

従業員寄付へのマッチング（上乘せ）寄付

「マッチング寄付」とは、従業員が行う慈善寄付に対して、雇用主が上乘せして寄付をし、従業員による寄付の機会を支援するものです。北米でのマッチング寄付プログラムについてはrotary.org/matchinggiftsをご覧ください。関心のある企業がございましたら

RI日本事務局財団室までお知らせください（rijpnfs@rotary.org）。

雇用主が上乘せを行った場合、その認証対象は雇用主となり、領収証が発行されます。

Raise for Rotaryを用いたロータリー財団へのファンドレイジング

Raise for Rotaryとは、ロータリー財団のために個人やグループがオンラインで募金を行うことのできるツールで、個人の重要な節目・記念日やその他の特別なできごとを祝う方法として最適です。募金活動の運営者は、ソーシャルメディアやEメール、テキストメッセージでご自身の募金ページについて家族や友人、同僚、支援者に伝え、オンラインでの募金を行うことができます。Raise for Rotaryは英語のみとなり、募金目標やご寄付は米ドル（全世界）、日本円、豪ドル、ブラジル・レアル、英ポンド、カナダドル、デンマーク・クローネ、ユーロ、ノルウェー・クローネ、南アフリカ・ランド、スウェーデン・クローナ、スイス・フランで受け付けています（そのほかの通貨とサイトの言語オプションが今後追加される予定です）。

フェイスブックを用いたロータリー財団へのファンドレイジング

フェイスブックでは、ロータリーへの寄付とするための資金を募ることができます。寄付先となる非営利団体としてEnd Polio Nowのいずれかをお選びください。End Polio Nowのページから受領された資金は、ポリオ根絶活動に充てられます。

フェイスブックを通じた寄付は、その他のロータリー外部のプラットフォームと同様に、一つにまとまった寄付とみなされ、個人の寄付として記録されません。また、ロータリー日本財団の税制上の優遇措置は受けられません。ご寄付による認証と税制上の優遇措置を受けることを希望される場合は、[ロータリーのウェブサイトから日本円でご寄付ください](#)。

財団資金関連リソース

クラブ向け・地区向けのリソース

- **ロータリークラブ・セントラル**: 会員増強、財団への寄付、奉仕プロジェクト、若いリーダーの参加、公共イメージ、クラブ優秀賞など、クラブの各種目標を設定し、達成に向けた進捗を確認・記録できるオンラインツール。
- **DDFのベストプラクティスに関するパンフレット**: DDFを最大限に活用するための計画と実施において地区が取るべきステップを紹介。

認識向上

- **ロータリー財団の基本**: オンラインのラーニングセンターにあるコースで、ロータリー財団の基本情報を提供。
- **恒久基金を成長させるための地区の手引き**: 重要な資金源としての恒久基金を効果的に推進するための資料。
- **「寄付推進&補助金」ニュースレター**: ファンドレイジング（寄付推進）と補助金に関する情報を四半期ごとに紹介。

個人の寄付

- **「Every Rotarian, Every Year」パンフレット**: クラブ会員への配布用。会員がロータリー財団の補助金や活動に参加し、財団を支援することの重要性を伝えるパンフレット。
- **「ロータリーの恒久基金」のページ**: 恒久基金と遺贈の概要情報、認証の機会、遺贈用のオンラインフォームなどを掲載したウェブページ。
- **計画寄付**: アメリカ合衆国の税制上の優遇措置を含む遺言や公益信託に関する情報を掲載したウェブページ。
- **「明日を支えるご支援: ロータリーへの遺贈」パンフレット**: 恒久基金と25,000ドル以上の遺贈に関する詳しい情報を掲載し、複数の寄付者のメッセージを紹介。
- **ロータリーへの遺贈フォーム**: 遺贈を含む恒久基金への寄付、「遺贈友の会」への入会などについて説明したパンフレット。

財団での認証

ロータリー財団では、補助金やプログラムの支援者に感謝の意を表するため、さまざまな機会を設けています。

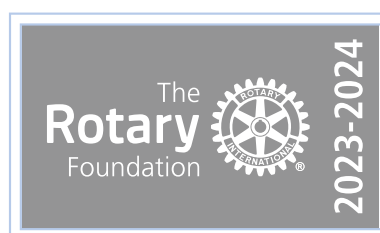
My ROTARYの「寄付者履歴レポート」で、自分の寄付歴と認証歴を見ることができます。このレポートはEメール (rotarysupportcenter@rotary.org) で取り寄せも可能です。

個人の認証

ロータリーのリーダーは、個人やクラブの寄付状況をMy ROTARYまたはロータリークラブ・セントラルから見ることができます。

「財団の友」会員

年次基金に毎年100ドル以上を寄付する方（個人）が「財団の友」会員となります。この寄付は、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、クラブのバナー認証の対象ともなります。ロータリーの名札に付ける「財団の友」会員ステッカーもご活用ください。



「クラブバナーレポート」で「財団の友」会員を調べることができます。

ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー (PHF) は、年次基金、ポリオプラス基金、災害救援基金、あるいは財団が承認したグローバル補助金へ、累積1,000ドル以上を寄付した個人に感謝を表すため（または認証ポイントを使ってほかの個人を称えるため）の認証です。認証は、認定状と襟ピンの贈呈をもって行われます。「クラブ認証概要レポート」で、ポール・ハリス・フェローとなっている会員を調べることができます。



感謝状

時に、企業や組織への感謝を示す目的で寄付が行われる場合があります。この場合、ポール・ハリス・フェローの認証は個人のみを対象としているため、代わりとして企業や組織には感謝状が贈られます。



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証は、最初の1,000ドルの後に累積した寄付1,000ドルごとに授与されます。認定は、寄付額のレベルに相当する宝石の付いた襟ピンの贈呈をもって行われます。



レベル	範囲*	襟ピン
+1	2,000～2,999ドル	サファイア1粒
+2	3,000～3,999ドル	サファイア2粒
+3	4,000～4,999ドル	サファイア3粒
+4	5,000～5,999ドル	サファイア4粒
+5	6,000～6,999ドル	サファイア5粒
+6	7,000～7,999ドル	ルビー1粒
+7	8,000～8,999ドル	ルビー2粒
+8	9,000～9,999ドル	ルビー3粒

*認証のために、現金寄付額と認証ポイントを合わせることができます。

ポール・ハリス・ソサエティ

ポール・ハリス・ソサエティは、年次基金（シェア）、年次基金（WF）、年次基金（重点分野）、ポリオプラス基金、災害救援基金、あるいは財団が承認したグローバル補助金へ、毎年度1,000ドル以上を寄付する方（個人）を認証するプログラムです。



入会者には紋章型のピンと感謝状が贈られます（このピンは地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターから入手できます）。

ポール・ハリス・ソサエティ会員は、ポール・ハリス・ソサエティ・レポートに記載されます。

メジャードナー

寄付の指定条件を問わず、寄付の累計が10,000ドルに達した個人または夫妻が「メジャードナー」となります。この認証は、財団認証ポイントによってではなく、寄付額に応じてのみ行われます。メジャードナーは、各レベルに応じた認証品（クリスタル）と襟ピンまたはペンダントを受け取ることができます（任意）。「メジャードナー／アーチ・クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート」で、メジャードナーとなっている会員を調べることができます。

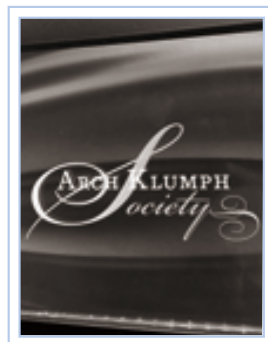


レベル 範囲

- 1 10,000～24,999ドル
- 2 25,000～49,999ドル
- 3 50,000～99,999ドル
- 4 100,000～249,999ドル

アーチ・クランフ・ソサエティ

寄付の指定条件を問わず、寄付の累計が250,000ドルに達した個人または夫妻は、アーチ・クランフ・ソサエティ（AKS）のメンバーとなります。この認証は、財団認証ポイントによってではなく、寄付額に応じてのみ行われます。国際ロータリー世界本部17階にあるアーチ・クランフ・ギャラリーと一部の国際事務局の案内版に、AKSメンバーの肖像写真、略歴、式典の動画が紹介されます。メンバーには襟ピンとペンダントが贈られ、ソサエティメンバーの特別行事に招待されます。また、特別なソサエティ入会／レベルアップの式典が催されます。「メジャードナー／アーチ・クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート」で、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーを調べることができます。



管理委員会サークル：250,000～499,999ドル

管理委員長サークル：500,000～999,999ドル

財団サークル：1,000,000～2,499,999ドル

管理委員会プラチナサークル：2,500,000～4,999,999ドル

管理委員長プラチナサークル：5,000,000～9,999,999ドル

財団プラチナサークル：10,000,000ドル以上

ベネファクター

将来に1,000ドル以上を寄付することを誓約する旨を書面にてロータリー財団に通知するか、恒久基金に1,000ドル以上の現金寄付を行った方が、「ベネファクター」となります。認証状、およびロータリーやポール・ハリス・フェローの襟ピンとともに身につける記章が贈呈されます。「ベネファクターレポート」と「クラブ認証概要レポート」で、ベネファクターとなっている会員を調べることができます。



遺贈友の会

資産計画においてロータリー財団に対する10,000ドル以上の遺贈を誓約した個人または夫妻が「遺贈友の会」会員となります。寄付者は、各レベルに応じた特典や機会があります。



10,000ドル： 遺贈友の会襟ピンと額に入れることができるアート作品が贈られます。

25,000ドル： Rotary's Promiseのクリスタルと冠名基金設立

50,000ドル： 冠名基金設立

100,000ドル： カスタマイズされたRotary's Promiseのクリスタル

250,000ドル： 逝去後のアーチ・クランフ・ソサエティの認証

500,000ドル： ロータリー国際大会での特別席や登録に関する特典



レガシー・ソサエティ

恒久基金に100万ドル以上を寄付することを書面で表明した方またはご夫妻は、レガシー・ソサエティにご入会いただけます。ロータリーの年次報告にお名前が記載されるほか、国際ロータリーとロータリー財団の特別行事に招待されます。また、特別な感謝の品に加え、遺贈友の会会員に提供されるすべての特典がレガシー・ソサエティ会員にも贈られます。



クラブの認証

ロータリー財団では、補助金やプログラムを支援するクラブに感謝の意を表するため、さまざまな機会を設けています。

クラブのバナー認証レポートでは、100%財団寄付クラブ、「Every Rotarian, Every Year」クラブ、年次基金への一人当たりの寄付額の地区上位3クラブの表彰に向けた、現ロータリー年度のクラブの寄付状況を確認できます。

新会員（現ロータリー年度に入会または他クラブから移籍した会員）は、クラブバナー認証の要件に含まれません（100%ポール・ハリス・フェロー・クラブのバナーを除く）。ただし、クラブの一人当たりの寄付額の計算には、新会員からの寄付も含まれます。

「クラブのバナー認証レポート」（クラブと地区のリーダーがMy ROTARYまたはロータリークラブ・セントラルから閲覧可能）に記載された認証クラブは変わることがあります。これは、年間を通じて会員数が変わったり、新たな寄付が行われたりするためです。クラブが年次バナー認証の資格を満たしたかどうかを調べる際に、このレポートを参照することができます。認証バナーは、ロータリー年度の終了（6月30日）の後に手続きが行われ、10月か11月に現ガバナーに送付されます。地区バナーレポートのご要請はrotarysupportcenter@rotary.orgまでご連絡ください。

100%ロータリー財団寄付クラブ

この認証は、1年度に、一人あたりの平均寄付額が少なくとも100米ドルに達し、会費を支払っているすべての会員が、寄付先（年次基金、ポリオプラス基金、承認されたグローバル補助金、恒久基金）を問わず25ドル以上を寄付したクラブに対して行われます。



100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ

このバナー認証を受けるには、地区ガバナーが認証を申し込む時点で、会費を支払っているすべての会員がポール・ハリス・フェローになっている必要があります。1度限りの認証ですが、クラブはその後100%ポール・ハリス・フェローの状態を維持することが期待されます。



認証の申し込み方法：

1. 会費を支払っているすべての会員がポール・ハリス・フェローであることを確認した後、クラブ代表者が地区ガバナーに連絡。
2. 地区ガバナーが「クラブ認証概要レポート」でクラブ全会員がポール・ハリス・フェローとなっていることを確認した後、ロータリー財団にEメール (rotarysupportcenter@rotary.org) で連絡。

「クラブ認証概要レポート」の上部に、クラブが100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ認証バナーを受け取ったかどうか（受け取った場合は認証日も含む）が記載されています。

「Every Rotarian, Every Year」クラブ

この認証は、1年度に、年次基金への一人あたりの平均寄付額が少なくとも100ドルに達し、会費を支払っているすべての会員が年次基金に25ドル以上を寄付したクラブに贈られます。



Rotary's Promiseクラブ

全会員が恒久基金を支援しているクラブは、「Rotary's Promiseクラブ」の表彰状（電子ファイル）とデジタル記章を要請することができます。1,000ドル以上の恒久基金への遺贈または寄付が認証対象とみなされます。認証の申し込み方法：

1. 会費を支払っているすべての会員がベネファクターまたはそれ以上の認証レベルであることを確認した後、クラブ代表者が地区ガバナーに連絡。
2. 地区ガバナーが「クラブ認証概要レポート」でクラブ全会員がベネファクター（またはそれ以上の認証レベル）となっていることを確認した後、ロータリー財団にEメール (planned.giving@rotary.org) で連絡。

「クラブ認証概要レポート」の上部に、クラブがRotary's Promiseクラブ認証を受けたかどうか（受けた場合は認証日も含む）が記載されています。

年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ

このバナーは、各地区内で、年次基金への一人当たりの寄付額が上位3位に入ったクラブに贈られます。資格を得るには、クラブの一人あたりの平均年次寄付額が最低50ドルである必要があります。



100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ

このバナーは、1年度に、会費を支払っているすべての会員が、年次基金、ポリオプラス基金、承認されたグローバル補助金のいずれかに少なくとも1,000ドルを寄付したクラブに贈られます。



「End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウン」キャンペーンの感謝状

ロータリーのポリオプラス基金に毎年1,500ドル以上を寄付するクラブに贈られます。

ローターアクト寄付達成証

1年度にクラブとして合計100ドル以上を寄付したローターアクトクラブに贈られます。寄付者はローターアクトクラブ会員として登録されている必要があります。合計で100ドル以上となれば、それぞれの寄付の指定先（基金）と金額は問いません。

認証ポイント

認証ポイントは、年次基金、ポリオプラス基金、災害救援基金、承認されたグローバル補助金のいずれかに寄付をした人に、1ドルにつき1ポイント与えられるものです。ただし、恒久基金への寄付は認証ポイントの対象となりません。

寄付者は、認証ポイントを移譲して、ほかの人をポール・ハリス・フェロー、またはマルチプル・ポール・ハリス・フェローにすることができます。認証ポイントは、寄付者が亡くなるまで、あるいは寄付者がポイントを使用するまで、本人の保有ポイントとみなされます（寄付者がメジャードナーの場合は、存命している配偶者またはパートナーがポイントを使用できます）。

ポール・ハリス・ソサエティまたはメジャードナーの認証のために認証ポイントを使用できないことにご留意ください。

移譲の方法

一度に移譲できるのは100ポイント以上となります。「[ポール・ハリス・フェロー認証ポイント使用申請書](#)」にご記入の上、ご本人が必ずご署名ください。

個人からクラブ／地区へ認証ポイントを移譲できないことにご留意ください。また、寄付者は、認証ポイントを得るために、ポール・ハリス・フェローである必要はなくなりました。

認証関連リソース

- [「Every Rotarian, Every Year」パンフレット](#)：EREYと年次基金（シェア）に関する情報
- [「財団の友」会員のステッカー](#)：年次基金に100ドル以上を寄付した会員に贈ることのできるステッカー。クラブまたは地区の役員が注文できます。
- [ポール・ハリス・ソサエティ パンフレット](#)：ポール・ハリス・ソサエティの認証に関する概要を記載。
- [「ご寄付がかたちになるとき」パンフレット](#)：大口寄付に関する情報を記載。
- [ロータリーへの遺贈用の書式](#)：恒久基金、遺贈、冠名の機会に関する情報が含まれ、遺贈の意思を伝えるカード。
- [アーチ・クランフ・ソサエティ パンフレット](#)：アーチ・クランフ・ソサエティについて紹介。
- [Rotary's Promiseクラブのガイド](#)：Rotary's Promiseクラブとなるための資格に関する情報。
- [財団認証ポイントについて](#)：認証に関するよくある質問とその回答。
- [My ROTARYとロータリークラブ・セントラルから見ることのできる認証関連レポート](#)：
 - メジャードナー／アーチ・クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート
 - ポール・ハリス・フェロー／ベネファクターのレポート
 - クラブバナーレポート
 - 地区バナーレポート
 - クラブ認証概要レポート

一般リソース

My ROTARY

会員用のサイトであるMy ROTARYでは、ロータリーの活動や運営をサポートするさまざまなツールやリソースが提供されています。「クラブと地区の運営」からご覧ください。ログインして以下を行うことができます：

- ロータリークラブ・セントラルから、クラブの会員状況／奉仕プロジェクト／財団への寄付を確認
- 財団への寄付
- 財団の活動情報を入手
- 補助金センターを通じて補助金を申請
- ラーニングセンターで財団関連コースを利用
- 「寄付者履歴レポート」で自分の寄付履歴と認証に関する情報を確認
- 「奉仕プロジェクトセンター」でプロジェクトの成果を紹介

レポート

ロータリーのリーダーは、My ROTARYまたはロータリークラブ・セントラルから次のレポートを閲覧できます。また、RI日本事務局に資料請求していただくことも可能です。

財団寄付に関するレポートは、ロータリーにおける妥当な目的においてのみ使用すべきであることにご留意ください。利用者は、[個人データの使用とプライバシーに関するロータリーの方針](#)に従うことに同意したものとみなされます。レポートを利用するリーダーは、ラーニングセンターにある[個人データの保護](#)のコースを受けることが強く奨励されています。

寄付に関するレポート

ロータリーのリーダーは、以下のレポートを利用できます。

レポート	内容	種類
寄付者履歴レポート	個人の寄付に関する情報を記載（寄付、財団認証ポイントの移譲、誓約、認証を含む）。寄付と認証について確認する際に参照。	個人
クラブバナーレポート	現年度のEREYクラブと100%財団寄付クラブバナーの認証レベル到達日を記載。	クラブ、地区
クラブファンドレイジング分析	5年間の年次基金目標、寄付、認証に関する情報を記載。目標設定を行う際に参照。	クラブ、地区
クラブ認証概要レポート	寄付者のポール・ハリス・フェロー・レベル、寄付額、財団認証ポイント、定期寄付への参加、「Rotary's Promiseクラブ」に向けた進捗、ベネファクター状況、前回の寄付日と寄付指定先、100%ポール・ハリス・フェロー・クラブの達成と日付、クラブの寄付、寄付ゼロクラブに関する情報を記載。	クラブ、地区
メジャードナー／アーチ C. クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート	遺贈友の会とレガシー・ソサエティのメンバー、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーのリストと認証日を記載。郵送先住所を表示。	クラブ、地区
月次寄付レポート	特定年度と月におけるクラブの年次基金、恒久基金、そのほかの基金への寄付情報を記載（年度開始時からの現在までの寄付情報を含む）。	クラブ、地区
ポール・ハリス・フェロー／ベネファクターのレポート	ベネファクター、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、感謝状を受けた人、その認証日および郵送先住所を表示。	クラブ、地区
ポール・ハリス・ソサエティ・レポート	ポール・ハリス・ソサエティの会員と資格に関する過去4年間の情報を記載。寄付者の連絡先のタブを含む。	クラブ、地区

レポート	内容	種類
ポリオプラス レポート	特定年度と月におけるクラブのポリオプラス 基金への寄付情報を記載（年度開始時から の現在までの寄付情報と前年度の寄付情報 を含む）。	クラブ、 地区
シェア指定寄付 レポート	各クラブの年次基金（シェア）の寄付状況 と、特定年度のDDF情報を記載。	クラブ、 地区
地区で利用可能 なDDFレポート	DDFの状況（移譲、補助金、返納額、未使 用額）と最近の業務日の時点で利用可能な 推定残高を表示。	地区
現クラブ役員寄 付レポート	現年度または前年度におけるロータリー財 団への寄付の有無を示した、地区内の現ク ラブ役員のリスト。	地区
地区バナー レポート	クラブバナーの認証（年次基金への一人当 たりの寄付額上位3クラブ、100%財団寄付ク ラブ、EREYクラブ）に向けた進捗を記載。 財団寄付とEREYの認証についてクラブ会員 の参加状況を表示。	地区
地区ファンドレ イジング分析レ ポート	5年間の年次基金と恒久基金への地区から の寄付状況、寄付総額を記載。ポール・ハリ ス・ソサエティの有資格者、メジャードナー、 大口寄付、ベネファクター、遺贈友の会会員 の累積数を表示。認証ポイントおよび冠名 基金とその市場価値の合計を表示。	地区
基金状況 レポート	恒久基金-シェアの使用可能な収益による DDFを表示。	地区
次期クラブ役員 寄付レポート	現年度または前年度におけるロータリー財 団への寄付の有無を示した、地区内の次年 度クラブ役員のリスト。	地区
プログラム参加 者と学友（地区 別）	地区の現・元プログラム参加者のリスト。	地区

レポート	内容	種類
追跡番号のある寄付レポート	冠名指定寄付と冠名基金から地区がグローバル補助金に使用できる金額を表示。	地区

補助金に関するレポート

会員であればどなたでも以下のレポートを閲覧できます。

レポート	内容
補助金の詳細レポート	特定の補助金に関する詳細を表示。
補助金の場所に関するレポート	選択された国で実施されているすべてのグローバル補助金を表示。
補助金への参加レポート	グローバル補助金および地区補助金へのクラブ、地区、ゾーン別の参加情報を表示。
補助金の状況レポート	選択されたクラブ、地区、ゾーンによるグローバル補助金および地区補助金の状況を表示。
提唱者別の補助金レポート	選択されたクラブまたは地区による補助金とその状況を記載（完了および取り消された補助金を除く）。
専門家グループ（Cadre）メンバー情報レポート	ロータリー財団専門家グループ（Cadre）のメンバーに関する情報。

お問い合わせ

寄付、認証ポイント、補助金申請の締切日など、財団に関するお問い合わせは、RI日本事務局財団室（問い合わせ先：rijpntrf@rotary.org）までご連絡ください。

地区とゾーン関連リソース

地区ロータリー財団委員長は、地区における財団活動と募金の推進を担当します。地区財団委員長はさらに、地区補助金に関する主な連絡窓口となり、クラブの財団委員会を援助します。地区財団委員長はさらに、地区および地区内クラブが提唱するグローバル補助金の申請書の確認と承認を行います。また、DDFの承認において地区ガバナーを援助し、地区でのロータリー財団賞の受賞者の推薦や、地区の財団目標を定める前に地区内会員の意見を集めます。

ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）は、地域内のファンドレイジングなど、財団活動全般の推進を行っています。また、ファンドレイジング目標やプログラム目標を設定してこれらを達成できるよう、地域チーム（RRFC補佐）や地区のリーダーを研修します。

恒久基金／大口寄付アドバイザー（EMGA）は、地域や地区のリーダーと密に協力し、大口寄付見込み者の特定と開拓、懇請のための個別計画を作成します。また、財団支援者を招いた行事や、寄付見込者探しを支援します。

My ROTARYから現任のRRFC、ポリオ根絶コーディネーター（EPNC）、恒久基金／大口寄付アドバイザー、そのほかの[地域リーダーのリスト](#)をご覧ください。

ロータリー事務局

国際ロータリー日本事務局

財団室

〒108-0073

東京都港区三田1丁目4-28

03-5439-5805

rijpntrf@rotary.org

クラブ優秀賞(ロータリークラブ)

目標と達成方法に関する説明

クラブ優秀賞(ロータリークラブ)は、各年度のクラブの優れた取り組みを表彰するものです。受賞要件である目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人びとを温かく迎え、その参加を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。クラブが本賞の目標に取り組むことで、ロータリーの力強さを保ち、次世代にとってふさわしい文化を育むことができます。

クラブ優秀賞の受賞資格を満たすには、クラブの会費納入状況が良好である(RIからのクラブ請求書の全額を遅延なく納入している)ことが条件となります。クラブの会費納入状況が良好であることを確認するには、「My ROTARY」のタブにあるクラブ名をクリックしてから、「財務」>「クラブ請求書」の順にクリックしてください。クラブの未納金残高が0ドルである必要があります。会費の納入は、1月中旬または7月中旬に請求書が閲覧可能となり次第、速やかに行ってください。

ロータリークラブのリーダーは、クラブ優秀賞の達成を目指して、ロータリークラブ・セントラルにある目標の中から目標を選ぶことができます。このような柔軟性により、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことができます。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。受賞資格を得るには、クラブは少なくとも半分の目標を6月30日までに達成する必要があります。

クラブ優秀賞を受賞するには、以下を行っていただく必要があります：

1. [ロータリークラブ・セントラル](#)を開く
2. 目標の内容を確認する
3. その中から少なくとも半分の目標を選択する
4. 選んだ目標を達成する
5. 6月30日までにロータリークラブ・セントラルで達成を報告する
6. クラブ請求書を受領したら、速やかに請求額の全額を支払う

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、ページ左側にある「クラブの目標」をクリックして開き、年度を選んでから「すべて」をクリックしてください。受賞資格は、6月30日現在の目標達成状況に基づいて決定されます。

参加者の積極的なかわりを促す	
目標	説明
奉仕活動への参加	このロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
ロータリー行動グループへの参加	このロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数

改訂:2025年2月

ロータリー親睦活動グループへの参加	このロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区大会への参加	地区大会に出席する会員の数
地区研修への参加	役割に備えるためにラーニング行事に出席するクラブリーダーの数
リーダーシップ育成への参加	このロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
親睦のための活動	このロータリー年度に、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	このロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料(ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料)をクラブが使用したかどうか

より大きなインパクトをもたらす	
目標	説明
奉仕プロジェクト	このロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	このロータリー年度にバーチャル形式または対面形式でクラブが派遣する青少年交換学生の数 ¹
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括 10,000 ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に 10,000 ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数

¹ロータリー青少年交換に参加するすべてのクラブが RI の方針とロータリー青少年交換資格認定の基準に従わなければならない。地区ロータリー青少年交換プログラムの直接の監督下に運営されなければならない。

改訂:2025 年 2 月

ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知、または恒久基金に 1,000 米ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
---------	--

参加者の基盤を広げる	
目標	説明
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
新会員の推薦	このロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ローターアクトクラブ	このロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	このロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
RYLA 参加者	このロータリー年度に対面式またはバーチャル形式でクラブが支援する RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)参加者の数
クラブのプロジェクトのメディア掲載	このロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数

適応力を高める	
目標	説明
クラブ戦略計画	クラブには独自の戦略計画があるか
クラブ細則の見直し	会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されているかどうか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	このロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか

お問い合わせ: そのほかの情報は「[よくある質問](#)」をご覧ください。

改訂: 2025 年 2 月

ロータリー賞／クラブ優秀賞 よく尋ねられる質問

この資料にある質問は、次のカテゴリに分かれています：

[ロータリークラブとローターアクトクラブの優秀賞](#)

[アクセス](#)

[受賞資格](#)

[目標達成の報告](#)

[クラブ優秀賞の目標](#)

[受賞クラブ](#)

[インターアクトクラブ優秀賞](#)

ロータリークラブとローターアクトクラブの優秀賞

ロータリー賞とクラブ優秀賞の違いは何ですか。

これらは同じ賞であり、違いはありません。2024 年 7 月 1 日より、ロータリー賞の名称が「クラブ優秀賞」(Club Excellence Award)に変更されました。この賞は、ロータリーの行動計画に沿った目標を達成したロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブを表彰するものです。1992 年に設立されたこの賞は、重要性和ロータリー戦略的目標との関連性を保つために、時とともに変更が加えられてきました。優秀なクラブの表彰という意図をよりよく示すために、RI 理事会により名称変更が承認されました。正式な名称変更は 7 月 1 日からですが、この資料では「クラブ優秀賞」が使われています。

なぜクラブはクラブ優秀賞を目指すべきなのでしょう。

クラブ優秀賞は、クラブの表彰であるだけでなく、クラブの健全さや成長を確かなものとするための重要な手段でもあります。[クラブ優秀賞の目標](#)に向けて取り組むことで、クラブにおける会員の参加が促され、地域社会でクラブの重要性が高まり、運営を効率化する一助となります。人びとを温かく迎え、参加を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映していると言えます。クラブが本賞の目標に取り組むことで、次世代のためにロータリーの健全さと文化を育むことができます。

2023 年 12 月改訂

ロータリークラブは、どうすればクラブ優秀賞を受賞できますか。

1. [ロータリークラブ・セントラル](#)を開く
2. 目標の内容を確認する
3. その中から少なくとも半分の目標を選択する
4. 選んだ目標を達成する
5. 6月30日までにロータリークラブ・セントラルで達成を報告する(留意事項: 会員数の増加やロータリー財団への寄付など、一部の達成は自動的に記録されます。)
6. クラブ請求書を受理後、速やかに支払う(遅くとも60日以内)。

ローターアクトクラブは、どうすればローターアクトクラブ優秀賞を受賞できますか。

2023-24年度の賞の場合、ローターアクトクラブが[ロータリー賞推薦フォーム](#)から自身のクラブをロータリー賞に推薦します。2024-25年度の賞の場合、ローターアクトクラブ役員が[ロータリークラブ・セントラル](#)にログインして目標を選択します。クラブ優秀賞を受賞するには、ロータリークラブと同様、ローターアクトクラブも目標の少なくとも半分以上を達成する必要があります。年度中、いつでもロータリークラブ・セントラルから目標を編集したり、達成を報告したりできます。また、ローターアクトクラブが受賞資格を得るには、クラブ請求書を(受理後60日以内に)全額支払う必要があります。ロータリークラブ・セントラルで目標の設定と達成の報告を行わないローターアクトクラブ、または(2024-25年度より)クラブ請求書の支払いを受理後60日以内に行わないローターアクトクラブは、クラブ優秀賞の受賞資格がありません。

アクセス

ロータリークラブ・セントラルはどこから開けますか。

My ROTARY のホームページから直接[ロータリークラブ・セントラル](#)を開くか、ナビゲーションにある「My ROTARY」メニューから開くことができます。ロータリークラブ・セントラルの使用方法については、ラーニングセンターの「[ロータリークラブ・セントラルのリソース](#)」のコースを参照できます。[目標達成の報告](#)についてご覧ください。

誰がロータリークラブ・セントラルで目標を閲覧できますか。

その年度のクラブ役員が設定した目標を、そのクラブの全ロータリアンとローターアクターがロータリークラブ・セントラルで閲覧できます。次年度の目標が閲覧できない場合、役員がまだ

目標を設定していないか、その人がまだクラブ会員として報告されていない可能性があります。

誰がロータリークラブ・セントラルで目標の設定と管理を行うことができますか。

RIに報告されている現・次期クラブリーダーと現・次期地区リーダー(ガバナー補佐を含む)は、次年度の目標を設定できます。RI に報告されるクラブリーダーには、会長、副会長、幹事、会計、クラブ管理運営委員長、会員増強委員長、公共イメージ委員長、奉仕プロジェクト委員長、ロータリー財団委員長、ラーニングファシリテーター、地区代表幹事／事務局職員が含まれます。これらのクラブリーダーがロータリークラブ・セントラルで目標を設定できない場合、[その役職が My ROTARY で報告されていない](#)可能性があります。

クラブリーダーではない会員がクラブの達成を入力できますか。

ロータリークラブ・セントラルで目標を設定し、達成を報告できるのは、クラブリーダーのみです。ただし、クラブリーダーは一時的に[オンラインのアクセスを委任](#)することで、ロータリークラブ・セントラルからほかの会員がクラブの達成を入力できるようにすることができます。留意事項:ローターアクトはまだオンラインアクセスを委任ができませんが、いずれできるようになる予定です。

受賞資格

クラブ優秀賞を受賞するには、クラブの会費納入状態が良好でなければなりませんか。

はい。クラブ優秀賞の受賞資格を得るには、年度開始時から終了時までロータリークラブとローターアクトクラブの会費納入状況が良好であることが条件となります。クラブ優秀賞の受賞資格にある「会費納入状況が良好」とは、クラブ請求書の発行後 60 日以内にクラブ会費を全額支払っていることを意味します。期日までに支払わないクラブには、国際ロータリー経理部から 60 日間未納の催促通知が送られ、そのクラブは受賞資格を失うこととなります。ロータリークラブへの請求書は半年ごと(7 月と 1 月)、ローターアクトクラブへの請求書は年 1 回(1 月)送付されます。

現年度中に加盟認証された新クラブも、国際ロータリーへの未納金がないことを条件に、ロータリークラブ・セントラルにある目標のうち少なくとも半分を年度末までに達成すれば、受賞資格を得ることができます。

クラブの会費納入状況が良好であるかどうかを確認するには、どうすればよいですか。

請求書が 60 日間以内に全額支払われているかどうかを確認する必要があります。

クラブの毎日の残高を確認するには、「My ROTARY」のタブの下にあるクラブ名、「財務」、「クラブ請求書」のクリックしてください(このレポートで未納金残高が 0 ドルとなっている必要があります)。1 月中旬(ロータリークラブとローターアクトクラブ)または 7 月中旬(ロータリークラブ)に請求書が閲覧可能となり次第、速やかにお支払いください。

クラブ請求書が期日通りに支払われているかどうかを確認するには、クラブ優秀賞受賞者レポートをご確認ください。このレポートは My ROTARY から閲覧できます。My ROTARY にログインし、My ROTARY のタブから「会員・財団に関するレポート」をクリックしてください。賞・表彰のセクションからもクラブ優秀賞について見るができます。60 日の催促通知を受け取っていない限り、クラブの会費納入状況は良好とみなすことができます。

請求書や支払方法についてのご質問がある場合、また、未納金や催促通知の有無について確認する場合は、[経理担当職員](#)にお問い合わせください。

年度の初めに設定した目標と異なる目標を達成した場合でも、クラブ優秀賞を受賞できますか。

はい。年度開始時に設定した目標は達成できないけれど、別の目標は達成できるとクラブリーダーが判断した場合、その年度内であればいつでも目標を変更できます。年度末までに半数以上の目標の達成が報告されていれば、クラブは受賞資格を得ます。

今年度に加盟認証されたクラブは、今年度に受賞資格がありますか。

はい。クラブに未納金がなく、年度の終わりまでに少なくとも半数の目標を達成していれば、新クラブも受賞資格があります。1 月以降に加盟した場合も、クラブは「会費納入状況が良好」とみなされます。1 月より前に加盟した場合、クラブが 1 月請求書を期日までに支払っている場合は「会費納入状況が良好」とみなされます。受賞資格を確認したい場合、加盟認証された新クラブの会長が E メール(riawards@rotary.org)で問い合わせることができます。

衛星クラブはクラブ優秀賞の受賞資格がありますか。

いいえ。衛星クラブの目標と達成は、スポンサークラブの目標と組み合わせる必要があります。

目標達成の報告

クラブが目標を達成したことをどこで報告すればよいですか。

ほとんどの目標については、ロータリークラブ・セントラル内で「達成」をクリックしてマークを入れることで自己報告できます。データに基づく目標(会員数やロータリー財団への寄付など)は、ロータリーのデータベースを反映して自動的に更新されるため、達成を報告する必要はありません。

昨年度の会員増加が反映されていないのはなぜですか。7月1日まで会員の削除は行っていないません。

7月1日に追加された会員は、次年度の会員増強データに反映されます。7月1日に削除された会員は、ロータリー年度の開始時に退会していることとなるため、前年度の退会者数に含まれます。例として、2024年7月1日に追加された会員は、次年度(2024-25年度)の会員増強データに反映されます。2024年7月1日に削除された会員は、前年度(2023-24年度)のデータに反映されます。

ロータリークラブ・セントラルにある会員数データは7月1日の会員数に基づいて更新され、年度を通じて随時更新されることはありません。クラブの現在の会員数を確認するには、My ROTARY にログインし、My ROTARY のタブから「会員・財団に関するレポート」をクリックしてください。

奉仕プロジェクトの達成を報告するにはどうすればよいですか。

この達成は自動的にシステムに記録されますので、会員がロータリークラブ・セントラルから達成を報告することはできません。その代わりに、完了したプロジェクトを[ロータリーショーケース](#)に掲載する必要があります。掲載後、約24時間後にロータリークラブ・セントラルに達成が表示されます。

進行中または完了した奉仕プロジェクトを報告するにはどうすればよいですか。

奉仕プロジェクトが複数年にわたり、ロータリークラブ・セントラルでの目標達成への影響が懸念される場合は、プロジェクトを分割して年度ごとに達成できるようにし、ロータリー年度の終了時点で各プロセスを完了とすることができます。

クラブの進捗をどのように確認できますか。

My ROTARY のアカウントがあるロータリークラブ会員とローアークトクラブ会員は、クラブ優秀賞受賞者レポートからクラブの達成状況を確認できます。このレポートは、ロータリークラブ・セントラルの各種レポートで見つけることができます。また、My ROTARY からアクセスできます。My ROTARY を開き、「会員・財団に関するレポート」を開きます。賞・表彰のセクションからクラブ優秀賞について見るすることができます。レポートは 10 月に公開され、7 月 1 日まで閲覧可能となります。

クラブは目標を達成しましたが、なぜ達成が表示されないのでしょうか。

ロータリークラブ・セントラルにある目標の大半は、達成を自己報告するものであり、これらの達成はいつでも入力できます。入力内容がレポートに反映されるまで、24 時間ほどかかる場合があります。

会員数やロータリー財団への寄付など、一部の目標は既存のデータが反映されるものであり、実際に達成されてからロータリークラブ・セントラルに表示されるまで、24 時間かかる場合があります。達成後 1～2 日が経過してから、クラブ優秀賞受賞者レポート(前の質問を参照)をご確認ください。

クラブ優秀賞受賞者レポートに私のクラブが受賞クラブとして表示されないのはなぜですか。

クラブが目標を達成しても、ロータリークラブ・セントラルで達成を報告することを会員が忘れてしまう場合があります。クラブ優秀賞は、目標を達成し、それを報告したクラブに授与されます。これに加え、すべてのクラブ請求書を発行後 60 日以内に支払う必要があります。いずれかの受賞要件についてクラブに例外が認められた場合、レポートには表示されません。

クラブ優秀賞の目標

ロータリークラブ・セントラル内のどこからクラブ優秀賞の目標を見ることができますか。

1. ロータリークラブ・セントラルでクラブの目標を開く
2. スクリーンの中央でロータリー年度を選択する
3. 「すべて」のタブを選択する

目標がすでに選択されている場合、国際ロータリーに報告されている全クラブ役員は、編集ボタンをクリックして変更することができます。

クラブ優秀賞を受賞するために、クラブはなぜ半分以上の目標を選ぶ必要があるのですか。

目標を選択式にすることで、クラブにとってより重要性が高く達成可能な目標に柔軟に取り組むことができます。受賞資格を得るには、クラブは少なくとも半分の目標を選択する必要があります。

印刷可能なクラブ優秀賞の目標リストは、どこで見つけることができますか。

[ロータリークラブ](#)、[ローターアクトクラブ](#)、[インターアクトクラブ](#)向けのクラブ優秀賞の目標は、[こちらのウェブページ](#)をご参照ください。

ローターアクトクラブ向けに新しい目標があるのはなぜですか。

ローターアクトクラブが国際ロータリー加盟クラブとなったことにより、ロータリーの行動計画によりよく沿うよう目標が更新されました。新しい目標は、ローターアクトクラブがより大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げ、積極的なかわりを促し、適応力を高めることに注力するものとなっています。

新会員と既存会員の定義は何ですか。

クラブ優秀賞において、新会員とは当該年度の 7 月 1 日またはそれ以降に追加された会員と定義されます。既存会員とは、当該年度の 7 月 1 日より前に会員である会員を意味します。

クラブ細則の更新に関する追加のリソースがありますか。

クラブが細則を更新してから数年が経っている場合、またはクラブ細則が見つからない場合には、[推奨ロータリークラブ細則](#)を土台として更新を行うことができます。クラブは、細則に独自の変更を加えることができます(ただし、[ロータリー組織規定文書](#)およびロータリー章典と矛盾しないこと)。ラーニングセンターの「[インクルーシブなクラブの文化を培う](#)」のコースで、会員のニーズを反映してクラブ細則を更新する方法をご覧ください。

「新会員を推薦する」とはどういう意味ですか。

新会員を推薦するとは、誰かを例会、奉仕プロジェクト、またはその他の行事に招き、自分のクラブに入会してもらうことを意味します。My ROTARY から[新会員を追加する](#)際に、その新会員の推薦者をロータリーに報告することができます。

ロータリー行動グループとロータリー親睦活動グループとは何ですか。

[ロータリー行動グループ](#)は、特定の専門分野における知識と経験を備えた国際的なメンバーから成る、独立したロータリー関連グループです。グループのメンバーは、人道的なインパクトを高めるというロータリーの優先事項に沿って、各自の知識と熱意を生かし、インパクトのある人道的奉仕プロジェクトを計画・実施するためにクラブと地区を援助します。

- どなたでもグループに参加できます。ロータリアン、ローターアクター、平和フェローは、グループのリーダーとしての役割を担うことができます。
- グループへの参加を通じて、クラブ、地区、国を超えて仕事のスキルを生かし、奉仕活動を成功に導くためにアドバイスを行うことができます。
- ロータリー行動グループは、同じ志を抱く世界中の人たちとネットワークを築く機会です。

[ロータリー親睦活動グループ](#)は、同じ情熱、職業、関心を分かち合う国際的グループです。親睦活動グループに参加することで、有意義なつながりを築いて世界中に友人をつくり、趣味や職業について知識を広げ、ロータリーでの体験を充実させることができます。

クラブのどの会員がロータリー行動グループまたは親睦活動グループのメンバーとなっているかを調べるには、どうすればよいですか。

RI では現在、ロータリー行動グループと親睦活動グループの会員情報を記録していません。各行動グループと親睦活動グループがそれぞれの会員データを独自に保持しています。行動グループ／親睦活動グループへのクラブ会員の参加状況を各クラブで調べることをお勧めします。

リーダーシップ養成プログラムの例にはどのようなものがありますか。

リーダーシップ養成プログラムは、リーダーシップのスキルを向上させる機会を会員に与えることを目的としたものです。クラブは、委員会メンバーとなったり、クラブの取り組みを先導したりする機会を会員に与えることで、会員のリーダーシップを養うことができます。また、メンター

プログラムや、ロータリーの[ラーニングセンター](#)にある専門能力開発のコースの利用を奨励するなどして、会員による新しいスキルの習得を支援できます。学んだスキルをクラブで応用できる環境をつくることが重要です。

ラーニング行事への参加の目標では、どのようなラーニング行事が認められますか。

役職への就任に備えるためにラーニング行事(バーチャル形式または対面式)に参加したクラブリーダーの数を、この目標に算入できます。

ロータリークラブ・セントラルにある目標として認められる、親睦のための活動には、どのようなものがありますか。

通常のクラブ例会以外に行われ、クラブの全会員が参加できる親睦の活動(バーチャル形式の親睦を含む)が認められます。

会員が青少年交換学生を受け入れたり、派遣したりできますか。

いいえ、従わなければならない RI の方針とロータリー青少年交換認定基準があるため、クラブの参加は、地区ロータリー青少年交換プログラムの直接の監督下に運営されなければなりません。

RYLA への参加として、どのようなものが認められますか。

この目標には、RYLA 参加者の後援または資金援助、行事の企画運営または運営、行事への参加または進行、行事でのスピーチなどが含まれます。

受賞クラブ

クラブ優秀賞の受賞時期はいつですか。

ロータリークラブとローターアクトクラブは、ロータリー年度の最終日である 6 月 30 日までに、目標の達成を報告する必要があります。7 月 1 日時点のクラブ優秀賞受賞者レポートに基づいて、受賞者が決定されます。クラブ優秀賞の表彰状が作成され、新年度の第一四半期中に送られます。例外の要請は 8 月末までケースバイケースで考慮されます(例外の要請は前年度のクラブ会長が行うべきです)。

クラブ優秀賞を受賞した場合、クラブは何を得ることができますか。

受賞要件を満たしたクラブには、RI 会長の署名が入ったデジタル形式の表彰状が送られます。表彰状のリンクは、次年度の早い時期に、クラブ優秀賞を達成したロータリークラブとローターアクトクラブの直前会長とその地区の直前ガバナーに送られます。

表彰状は、どのようにクラブに送られますか。

表彰状は、RI 賞・表彰担当部より、受賞クラブの地区の直前ガバナーに E メールで送られます。メールにあるリンクから、表彰状が入ったフォルダを開くことができます。これにより地区リーダーは、適宜、表彰状をクラブに贈呈できます。その数週間後、受賞クラブの直前会長に表彰状へのリンクが E メールで直接送られます。表彰状は地区番号とクラブ名で整理、分類されています。

クラブが優秀賞を受賞しましたが、表彰状を受け取っていません。表彰状はどこにありますか。

昨年度に受賞資格を得たにもかかわらず、表彰状を受け取っていないと思われる場合は、RIawards@rotary.org までメールでご連絡ください。2023-24 年度の表彰状へのリンクは、2024-25 年度の第 1 四半期に受賞ロータリークラブ／ローターアクトクラブと地区リーダーに送られます。

ロータリー年度中にレポートを確認した際に当クラブは受賞要件を満たしていましたが、なぜ表彰状が届かないのでしょうか。

クラブ優秀賞受賞者レポートは、レポート作成時点でのデータを反映したもので、会員数や寄付における変化が適宜反映されます。例えば、クラブが 5 月に優秀賞の要件を満たしていたとしても、年度末における会員の退会によって要件が満たされなくなるといった場合があります(会員増強目標を選択した場合)。受賞クラブは、7 月 1 日時点のレポートに基づいて決定されるため、その時点のレポートで目標が達成されている必要があります。7 月 1 日に退会した会員は、前年度の会員減少とみなされます。7 月 1 日に追加された会員は、現年度の会員増加としてみなされます。目標達成が 6 月 30 日より後に更新された場合、前年度の受賞資格には影響しません。

2023 年 12 月改訂

インターアクトクラブ優秀賞

インターアクトクラブの場合、クラブ優秀賞はどのような仕組みとなりますか。

インターアクトクラブは、インターアクトクラブ向けのクラブ優秀賞にオンラインで推薦されることができます。インターアクトクラブ向けのクラブ優秀賞の推薦は、Eメール、郵便、電話で行うことはできません。推薦フォームへのリンクは、[クラブ優秀賞のウェブページ](#)にあります。

インターアクトクラブの推薦フォームはいつ利用可能となりますか。

インターアクトクラブ用の推薦フォームは、当該年度の8月下旬または9月に利用可能となり、その翌年度の8月15日まで利用できます。

インターアクトクラブがクラブ優秀賞(インターアクトクラブ向け)を受賞するには、どうしたらよいですか。

インターアクトクラブが受賞するには、インターアクト向けクラブ優秀賞の目標の半数以上を達成する必要があります。スポンサークラブの会長、またはインターアクトクラブのアドバイザー(顧問)が、オンラインの推薦フォームを用いて達成された目標を提出する必要があります。[目標のリスト](#)と[推薦フォーム](#)へのリンクは、[クラブ優秀賞のウェブページ](#)からご覧ください。半数以上の目標が達成された場合、推薦者に表彰状へのリンクが送られ、推薦者はこれをダウンロード、印刷してクラブに贈呈できます。本賞を受賞できるのは、国際ロータリーによって認定されている正規のインターアクトクラブのみです。

誰がインターアクトクラブをクラブ優秀賞(インターアクトクラブ向け)に推薦できますか。

スポンサークラブの会長、またはインターアクトクラブのアドバイザー(顧問)のみが推薦でき、オンラインフォームを用いて推薦します。二つ以上のスポンサークラブがある場合、スポンサークラブ同士で相談して推薦を行う必要があります。

クラブ優秀賞を達成したインターアクトクラブのリストはありますか。

国際ロータリーは、そのようなリストを保持または配布していません。

インターアクトクラブへの表彰状が届かなかった場合、どうすればよいですか。

インターアクトクラブのための推薦フォームを提出し、受賞要件を満たしていれば、表彰状へのリンクが E メールで推薦者に送られます。推薦者は表彰状をダウンロードして受賞クラブに贈呈できます。表彰状へのリンクを含む E メールが推薦者に届かない場合、迷惑メールとして処理されている可能性があります。迷惑メールのフォルダにもない場合は、E メール (RIawards@rotary.org) でお問い合わせください。



国際ロータリー第2690地区
会長エレクト研修セミナー
出席報告

氏名
Name

所属クラブ
Home Club

国際ロータリー第2690地区会長エレクト研修セミナーに出席されたことを
報告します。

2025年3月8日・9日

国際ロータリー第2690地区
次期地区代表幹事 坂本 高司

奉仕の理想

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の業
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー

手に手つないで

1. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おゝロータリアン おゝロータリアン

2. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 世界と共に
おゝロータリアン おゝロータリアン

国際ロータリー第2690地区

地区ガバナーエレクト

坂 口 元 昭

〒683-0064 鳥取県米子市道笑町2-227-4

TEL: 0859-21-2690 FAX: 0859-21-2691

E-mail: sakaguchi2690@alto.ocn.ne.jp